法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-05-09

新作能の百年(1)1904年～2004年

西野，春雄

(出版者 / Publisher)
法政大学能楽研究所 / The Nogami Memorial Noh Theatre Research Institute of Hosei University
(雑誌名 / Journal or Publication Title)
Nogaku kenkyu : Journal of the Institute of Nogaku Studies / 能楽研究 : 能楽研究所紀要
(巻 / Volume)
29
(開始ページ / Start Page)
142(1)
(終了ページ / End Page)
112(31)
(発行年 / Year)
2005-05-31
(URL)
https://doi.org/10.15002/00002849

Hosei University Repository

新作能の百年(1)
—1904年～2004年—

西　野　春　雄

演劇は時代を映す鏡と言われる．いな演劇だけでなく，すべての芸術と言い換えてもよい．古典芸能であるとともに，現代に生きる演劇の一翼を担う《能》もまた，時代を映してきた．たとえば，1904年（明治37）から2004年（平成16）までの100年の間に創作された新作能は300曲を超えるが，これらの新作能を通観するだけでも，そのことはよく分かる．

激戦の日露戦争とその勝利，大正天皇即位の慶祝，大正13年の関東大震災とその後の復興，脚気に効くという新薬アンチベリベリンの宣伝，法然・親鸞・日蓮・蓮如など，宗祖・宗教者の遺徳を顕彰し，額田王・実朝・宗祇・芭蕉・大雅・利休・世阿弥など，歌人・連歌師・俳諧師・画家・茶人・能役者たちの事績と生涯を描く．第二次世界大戦中の戦意高揚と戦争讃美，そして敗戦後の，原爆の悲惨，平和の希求，脳死・心臓移植の問題，日本への強制連行事件，環境破壊や水俣病の鎮魂をモチーフにした作品も生まれるなど，能はいつでも社会や時代の姿を映している．

一方で，その土地の寺社縁起に取材し，名勝や古跡を讃え，郷土の伝説を綴り，孝子・節婦・偉人の事績を讃え，新しく興った宗教の教義を宣布する．世の中のさまざまな事件を脚色し，賀を祝い故人を追善し，滑稽な戯謡を作っては楽しんでもいる．鳴きわたる田鶴や泳ぎ戯れる河童など，鳥や動物まで登場する．

あるいは，室町以来の伝統のごとく『源氏物語』や『平家物語』『宝物集』『雨月物語』など，日本の古典文学作品に取材した能も多く作られているし，幸田露伴の小説や岡本綺堂の戯曲，与謝野晶子の短歌，高村光太郎の詩など，近代・現代の文学作品に取材した作品も生まれている．さらにはメーテル・リンクの戯曲『タンタジールの死』を能に翻案して1916年（大正６年）１月に初演された《鉄門》を嚆矢として，イエーツの舞踊劇『鷹の井にて』による横道萬里雄作《鷹の泉》とその改作曲《鷹姫》などのように，外国の戯曲に取材した能も創作されている．宗教者も，日本にとどまらず，鑑真和上やイエス・キリストも登場し，美人では，中国のみな

Hosei University Repository

らず，古代エジプトの女王クレオパトラに取材した作品まで生まれている．

では，何ゆえ作者は「能」を選んだのだろうか．

それは，主題の表現形態として，能が最もふさわしいと判断したからにほかならない．そこに，他の演劇にはない能独特の表現の特質を見いだしているからであろう．ならば能の表現の特質とはいったい何か．たとえば，能が自在に時間や空間を超越できる劇であることもその一つであろう．そして実は，20世紀の新作能を通観し分析する作業は，取りも直さず，能の本質を洞察することにも通ずる．本稿の目的は最終的には「能とは何か」を考察することにある．

この問題を考察する一つの鍵として，現代世界に対する強烈なメッセージが含まれている新作能《無明の井》や《望恨歌》《一石仙人》を創作した免疫学者多田富雄氏（1934～）の発言に耳を傾けたいと思う．《無明の井》は，古代中国の物語を借りて脳死と心臓移植を主題にした，きわめて先鋭的な作品であり，《望恨歌》は，第二次大戦中に日本に強制連行され，九州で死んだ若い朝鮮人の男の書きかけの手紙を携えた九州の僧（ワキ）が海を渡り，今は七十歳を越える老婆となった男の妻（シテ）に届ける場面から始まる悲痛な能である．亡き夫の書きかけの手紙に老婆が「アア，イゼヤマンナンネ」（「ああ，もう一度お会いしましたね」という程の意）とハングル語のセリフを語い，静かに舞う「恨（ハン）の舞」なども印象に残った舞台であった．

《一石仙人》は，最も現代的なテーマである核武装の否定と平和を願う作品である．“人ゲノム解読の完了，素粒子相互作用の解明など，生命と物質の本質を知り尽くしたと勘違いをした「人間」が，一方でおろかな我執に迷い，戦争に及ぶという姿を，多田は能の形で警告する”（横道萬里雄氏の能評「朝日新聞」2003年5月28日夕刊）．相対性理論の提唱者アインシュタインがシテの一石仙人である．

これらの新作能を書いた多田富雄氏が遺伝学者で生命科学者の柳澤桂子氏（1938～）との共著『露の身ながら 往復書簡 いのちへの対話』（2004.4.集英社）の中で，新作能に対する所感を述べているところがある．「能という伝統演劇が現代に通用する訴える力を持っている．それは何世紀にもわたって能楽師の身体に蓄積された芸の力」であるとし，執筆を進めている新作能《原爆忌》（広島を舞台に「鎮魂」がテーマという）と，《長崎の聖母》（長崎を舞台とする「復活」をイメージした作品）に触れ，「私が原爆の能を書く理由」として次のように綴っている．

Hosei University Repository

ではなぜ能なのかといえば，たまたま私が能の作劇術に通じているからというだけではありません．実際は何でもいいのですが，能には独特の訴える力があると信じているからです．

たとえば，能はいろいろ説明的な動きをするわけではありません．何かが舞台の上で実際に起こるわけでもない．能の登場人物は，幽霊，つまり死者だから，事件はもうずっと以前の過去の出来事なのです．それを見てきた死者が舞台に現れて，過去の事件を物語る．死者だからこそその顛末をみんな知っている．だから疑いがない．何も派手な所作をしないから，かえって訴える力が強いのです．わめいたり叫んだりしないで，じっとしている．それを存在感ある役者の身体が演じるから，説得力があるのです．そしてそれをじっと見て，分かってくれる観客が必ずいる．それは千人の分からぬ人に語りかけるより，力になることです．（236ページ）

この文章は，能のなかでも，死者の霊が主人公として登場する，いわゆる「夢幻能」を基準に綴られているので，能全体には及ばない点もあるが，しかし，それほど，能には死者の霊が多く登場する．死者による過去語りの形式による作品が圧倒的に多いのである．このことは後に示す300曲を越える「新作能年表」を通覧するだけでも理解できる．しかし，実は，ここに危険が潜んでいる．新作能の中には，いかにも近代現代の能らしい斬新で鋭い作品もあるが，一方で，能や謡が持つ様式性の強さを反映して旧套になずんだ，陳腐な作品が多く存在することも否めない事実なのである．したがって，いかにして旧套から脱却することができるか，この問いかけもまた「能とは何か」「能の表現の特質とは何か」を考察する上で，重要な問題提起となるはずである．

本論は，まず，1．1904年～2004年の百年間に創作された新作能を年表の形で示して概観する．そのあと，2．そこに見いだせる近代百年の新作能の諸傾向と問題点を指摘する．ついで，3．300曲を越える新作能の中から，先駆的な作品や注目すべき作品，および画期的な作品をとりあげて分析し，評価する．それを受けて，4．新作能をめぐる先人たちの論考も紹介しつつ，能の表現の本質を考察する．そして，5．21世紀に生きる新作能の意義と可能性を提起し，最終的には，能とは何かを解明したいと考えている．

Hosei University Repository

1. 新作能年表—1904年～2004年—

〈凡例〉

1. 本年表は，1904年から2004年の間に創作された新作能・新作謡曲をまとめたものである．
2. 本表の作成には，筆者が国立能楽堂企画展〈新作能の流れ〉（平成7年12月～8年1月）のために作成した『明治以後新作能一覧』を基礎としつつ，その後の調査による補正を加えて，第9回法政大学能楽セミナー『新作能を考える』における筆者の講演「新作能百年の流れ」（2004.7.16）の配布資料をさらに修訂し増補したものである．
3. 新作能の範囲は，上演・未上演を問わず，能または謡曲として創作された作品を中心とし，原則として謡物の類は省いた．
4. 配列は，近代・現代における新作曲の流れを概観すべく，かつ作品年表としても活用できるよう年代順とした．なお，成立年次の確定しにくい作品は，他の資料によって推定した．
5. 掲載項目は，原則として，作品名，作（作詞者）・節付（作曲者），発表年（謡本の刊行・初演等），掲載資料（単行本・雑誌・新聞等），未刊謡曲集，内容，の順とした．作詞者または作曲者未詳の作品は，たんに「○○作」とした場合もある．節付がどの流儀の節かわかる曲には，＊観世流，などの形で示した．
6. 資料収集・調査にあたっては，田中允編『未刊謡曲集』続一～二十二（昭和62年9月～平成10年4月，古典文庫）の成果に負う所が多く，その学恩に感謝申しあげると共に，資料を寄せられた関係各位に対し心から御礼申し上げる次第である．
7. なお，今回の年表には，英語能など外国語で書かれた新作能は都合により省略し，他日を期すこととした．
8. 本表の作成にあたっては，原稿の整理・打ち込み等に，それぞれ井上真由美，中野裕加，中西明子，寺尾奈緒子の諸君に助力を得たことを記し，篤く御礼申し上げる．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
001	旋引	大和田建樹作詞 観世清廉節付 ＊観世流	1904年 (明治37) 1月刊	風俗画報274号(明36・9) 能楽(明37・2)	未刊謡曲集続一	成田不動に参詣・剣多迦の二童子と不動明王が現れ、逆の妨げをなす綱を引き上げたさまを見せる。成田不動尊の霊験を讃仰。明治36年(1903)作。
002	碁	大和田建樹作 観世清廉節付 ＊観世流	1904年 (明治37) 5月刊	能楽(明37・4) 「能楽盛衰記」下巻	未刊謡曲集続十七	日露戦争に取材。ロシアを碁に替え、義経が退治する。明治37年3月観世清廉などの発起で軍資金献納能として堀流、シテ、観世清廉。牛込新小川町観世舞台。演者の希望で半能として所流。同年5月の片山家金能では片山九郎三郎がつとめた。
003	いくさ神	広田花月作詞 金剛直喜節付 ＊金剛流	1904年 (明治37) 11月刊	能楽商報(昭13・4) 宝生(平8・2, 3)	未刊謡曲集続一	広瀬武夫の霊、青山墓地に現れ、旅順港閉塞の激戦を語る。
004	高千穂	小池靖一作 ＊宝生流	1904年 (明治37) 12月	「香樂遺稿」(昭4・4) 宝生(昭17・9)	未刊謡曲集続八	日清戦争の勝利にちなんで、軍艦高千穂に舞い降りた鹿が荒鷲を退治する。明治28年草稿という。
005	海戦	五十嵐正朝作 ＊宝生流	1904年 (明治37)			日露戦争の折の海戦に取材した曲。「能楽盛衰記」下巻附録144頁に「明治三十七年新潟五十嵐正朝作」とあるものの、永らく本文の存否不明であったが、金沢市の佐野吉之助家に宝生流節付の謡本が伝存していたことが判った。
006	神風	梅津貝圃作	1905年 (明治38)頃			「能楽盛衰記」下巻附録144頁に「日本海戦大捷ノ時、梅津貝圃作」とある。本文の存否不明。
007	資時	池内信嘉作詞 観世清廉節付 ＊観世流	1905年 (明治38) 6月刊	「新作謡曲資時及附録」(明38・3) 風俗画報322・324号(明38・8, 9) 「能楽盛衰記」下巻 能楽商報(昭15・4)	未刊謡曲集続七	太宰少弐経資の子資時、十二歳で夭折れ霊吉の大将領復亨とわたりあう。日露戦争を背景にした作品。
008	征露の誉	高木半作詞 観世清廉節付 ＊観世流	1906年 (明治39)頃の作か	「新能楽」(明41・4)	未刊謡曲集続七	日露の戦役より凱旋の兵士、母に戦況を語り舞う。＊高木の作品の実際の節付者は大西関雪らしい。
009	二見	市川量造作 ＊観世流	1906年 (明治39) 1月刊		未刊謡曲集続十二	日露戦捷の海軍、二見浦に寄港し、夫婦岩の石魂の祝福の舞を見る。
010	鶴岡	大槻如電作	1906年 (明治39) 8月成稿	風俗画報354号(明39.12)	未刊謡曲集続九	静御前、鶴岡八幡で、義経をしのびながら舞を舞う。
011	旭楼	大野懋孝作詞 片山九郎三郎節付 ＊観世流	1907年 (明治40)以前刊	能楽商報(昭13・4)	未刊謡曲集続一	日露戦争、旅順戦勝の謡曲。半能形式。
012	尼逢禅寺	雪山道人作	1907年 (明治40)	能楽(昭41・4)	未刊謡曲集続十	日本の僧、印度の尼逢禅寺に至り、後に仏陀伽耶に導かれ、鷲陀峯羅睺羅から伝承の昔を聞く。別名、印度の仏跡。
013	千秋舞	高木半作詞 観世清廉節付 ＊観世流	1907年 (明治40)頃の作か	「新能楽」(昭41・4)	未刊謡曲集続七	〈翁〉の変作。国の千秋万歳を寿ぎ、翁が舞う。
014	熱津	如蓮居士作	1908年 (明治41)	風俗画報386号 (明41・7)	未刊謡曲集続二	都の病弱者、熱津に保養に行き、所の翁に名所を案内され、翁に白良であると告げて消えうせる。のち、白良の霊現れ、羽衣の天人に対する罪を供養し舞う。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
015	姉屋島	作者不明 ＊観世流	1908年 (明治41)11月檜常之助氏		未刊謡曲集続二	津島六輪の姉屋機の元祖，姉屋姫が現れ舞う。表記は(姉屋鶴)とすべきか。なお，この版本の奥付は，次の(滝廻坊)と全く同じである。
016	滝廻坊	作者不明 ＊観世流	1908年 (明治41)11月檜常之助氏		未刊謡曲集続二	筑前日田の馬場富次郎，郡の池ノ坊訪問の帰途，安芸，忠海の花道の師滝廻坊を訪ね，二代目滝廻坊及び初代の霊より花道の話をきく。
017	松島	吉田等作か (節付なし)	1909年 (明治42)1～3月頃	能楽新報7・8 (明42・4・15，25) 宝生(平7・5)	未刊謡曲集続十八	明治42年初春，松島を訪れた都の者，舟人に乗船を乞い，浦の名勝を見物する。後，塩竈明神顕れ，衝代の栄えを唄う。
018	蛭葵尼	松浦果(某？)作 ＊喜多流	1909年 (明治42)3月刊		未刊謡曲集続八	彦根藩士遠城謙道の霊，井伊直弼の墓所豪徳寺に現れ，直弼の遺徳を説く。
019	鹿児島	桑師川知通作 ＊観世流	1909年 (明治42)5月刊		未刊謡曲集続十七	西郷隆盛の霊，鹿児島の森に現れ，西南の役を語り，国土を守る誓いを示す。
020	橘	野村子爵作詞 初代梅若実節付 ＊観世流	1909年 (明治42)以前	観世流謡曲全書 (明42・2)	未刊謡曲集続二十二	橘諸兄の旧蹟を訪れた官人，その神霊に逢う。梅若実が祖先のために作らせ，しばしば梅若舞台で能として演じたという。
021	天長節	森杏三笑作 ＊観世流	1912年 (明治45)3月		未刊謡曲集続九	明治43年11月3日の天長節に，上京に住む陰士等，供見御香宮に詣で，武内大臣の霊から神宮皇后三韓征伐の話をきく，やがて神功皇后の霊現れ奇特を見せる。
022	壇之浦	巷水芳園作 ＊喜多流	1910年 (明治43)10月刊	能楽(大5・7)	未刊謡曲集続八	二位尼の霊，壇の浦に現れ，平家滅亡のさまを語り，皇室由緒弥陀寺建立の功命を受ける。
023	杉	井上鱗吉(高竹)作 大西閑雪節付 ＊観世流	1911年 (明治44)晩夏刊		未刊謡曲集続六	明和の頃，病死した末娘の墓に植えた杉，明治の世のすたれたのを嘆き，警世の教訓を示し舞う。
024	天理教祖	今永英足作 ＊宝生流	1912年 (明治45)7月刊	「天理教謡曲三番」 宝生(昭15・8)	未刊謡曲集続十四	下京辺の信者，天理教本部に詣で，教者から教祖中山美伎子の苦闘の生涯を聞く。
025	邪霊の命	今永英足作 ＊宝生流	1912年 (明治45)7月刊	「天理教謡曲三番」 宝生(昭15・8)	未刊謡曲集続十四	中山美伎子，我が子安子を身替りに大庄屋足達源右衛門の子息屋之丞の重病を春日明神に祈り救う。
026	邪霊の雨	今永英足作 ＊宝生流	1912年 (明治45)7月刊	「天理教謡曲三番」 宝生(昭15・8)	未刊謡曲集続十四	中山美伎子の雨乞祈祷で雨が降る。
027	舌切雀	国枝逸樓(鉦太郎)作 ＊宝生流	明治末年頃氏(石駅氏本)		未刊謡曲集続六	舌を切って放した「ささめ」という小雀，徒田村に住む老人の夢に現れ，老人，敢田村に「ささめ」を訪ね雀踊りを見る。童話「舌切雀」の謡曲化。
028	足尾銅山	王孫子作 ＊宝生流	1912年 (大正元)12月刊 (荷葉版)	宝生(昭10・10，同13・11)	未刊謡曲集続一	足尾銅山の創始者，古川市兵衛の霊現れ，銅山繁栄の事を語る。ワキは清国人，蓋宜張。
029	希典	杉原渚宜作詞 杉原月節付 ＊観世流	1912年 (大正元)頃氏		未刊謡曲集続十三	大正元年，明治天皇大葬の日に殉死した乃木希典に取材した修羅能。
030	義士供養	有吉敬三郎編 ＊観世流	1913年 (大正2)5月刊		未刊謡曲集続三	大石良雄の霊，山科に現れ，討入のさまを語る。同名古曲の改作。
031	碑塚	中村子風作・節付 ＊宝生流	1913年 (大正2)10月刊		未刊謡曲集続十五	南朝の臣下，吉水院の桜の碑塚を訪れ，正行の愛人弁の局の霊現れ，舞う。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
032	大石（おおいし）	中村弥三郎知微改訂 中杙信一節付 ＊福王流	1914年 (大正3)6月刊	観世(昭16・3)	未刊謡曲集続二	赤穂華岳寺の僧，山科で大石良雄の霊に逢い，討入の有様を見る．大正13年2月の刊本あり．近世後期成立の《義士供養》の再補訂．
033	手形石（てがいしいし）	織田鷹洲作 ＊喜多流	1914年 (大正3)刊	能楽(大5・12)	未刊謡曲集続九	天孫の勅を受けて武塵建命出雲に下り，大国主命とその長男，事代主命は勅に従うが，次男の建御名方命は反抗するも諏訪まで追い詰められ，降伏の誓約を石に手形として残し許される．
034	後の羽衣（のちのはごろも）	田中智学作詞 稲田福二節付 ＊観世流	1915年 (大正4)8月刊	『師子王歌謡篇』 (師子王全集一)	未刊謡曲集続十	日蓮宗の一派である国柱会の創始者田中智学による宗教色の濃い唱歌．原作のほかに翻案別曲と短縮改作曲がある．
035	大典（たいてん）	藤代禎輔作詞 観世左近節付 ＊観世流	1915年 (大正4)10月刊		未刊謡曲集続七	天皇の即位式大典の泰山祭が平安神宮で行われたとき，天津神が天女を引き連れて天下り，聖代を祝福して舞を舞う．大正天皇即位大典記念．観世流現行曲．
036	鉄門（てつもん）	高浜虚子作詞・節付 ＊金春流	1916年 (大正5)1月6日 初演	能楽(大5・2) ホトトギス(大5・3) 『朝の庭』 『能楽盛衰記』下巻	未刊謡曲集続九	銀河の城に住む姫と，姫を守護する忠僕の老人．ある夜，死の使いの老尼が城に忍び込み姫を連れ去る．眠りから覚めた老人は鎗狭し灯をかかげて追いかけるが，行く手には死の鉄門が閉ざされていて，押せど叩けど開かず，姫の声のみが聞こえる．メーテルリンク作"タンタジールの死"の翻案．
037	おろの鏡（かがみ）	山崎楽堂作	1915年 (大正4)年	能楽(大5・3) 謡曲界(昭16・10) 『能楽盛衰記』下巻	未刊謡曲集続二	自分の姿を池に映して，自らの姿に見ほれて水死した山鳥の霊現れて，昔を語る．永く未上演であったが，2003年(平成15)10月，《山鳥》と改題し初演．
038	原木（はらき）	高山草作か	大正6年頃か	謡曲界(大6・3) 宝生(平5・6)	未刊謡曲集続十八	下総慈恵の行徳領原木村の草木山妙行寺の縁起に取材．
039	平泉（ひらいずみ）	千葉担八郎作詞 片桐発作(敏博)節付 ＊宝生流	1917年 (大正6)4月刊	宝生(昭13・10)	未刊謡曲集続十一	中尊寺に義経の霊現じ，中尊寺の縁起，高館での最後の様を語る．
040	稲の浦（いなのうら）	大島寿太郎作 ＊喜多流	1917年 (大正6)1月刊 同年4月初演	能楽(大6・7)	未刊謡曲集続十	栃の浦の沼名前明神に取材した謡能．平成7年7月改訂版を刊行し，同年10月喜多流の大島政充が沼名前明神で復曲初演した．
041	実朝（さねとも）	高浜虚子作 (節付なし)	1919年 (大正8)1月刊	中央公論(大8・1) 能楽(大8・2) 謡曲界(昭16・10)	未刊謡曲集続五	実朝の霊，鶴岡八幡に現れ，渡宋を志し船を新造させたこと，暗殺された昔を語る．未上演であったが，1996年(平成8)10月，堂本正樹の補綴演出，野村四郎主演で上演．256《実朝》参照．
042	武蔵野（むさしの）	都筑甚之助作・節付 ＊観世流	1919年 (大正8)6月刊	『大正謡三番集』 (観世流改訂本と同体裁)	未刊謡曲集続十四	武蔵野の者，高千穂の斧の威徳で白米にひそむ悪鬼を退治してもらい，神の舞を見，アンチベリベリンの効能をきく．
043	氷鏡（ひかがみ）	都筑甚之助作・節付 ＊観世流	1919年 (大正8)6月刊	『大正謡三番集』 (観世流改訂本と同体裁)	未刊謡曲集続八	ハイデルベルヒに住む聖山を日本の勇子天舟が訪ね，アンチベリベリンの発見を聞き学問の栄えを舞う．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
044	三保	都筑甚之助作・節付 ＊観世流	1919年 (大正8)6月刊	『大正謡三番集』 (観世流改訂本と同体裁)	未刊謡曲集続十四	三保再訪の天人，病気にかかり昇天できずにいるところを，特効薬アンチベリベリンによって昇天し帰る．
045	護法還元歌	田中智学(巴之助)作詞　稲田禎二節付 ＊観世流	1921年 (大正10)の作か 1932(昭和7)年7月刊	『師子王歌謡篇』 (師子王全集 一)	未刊謡曲集続四	国威発揚を謳う．半能．
046	香水	岡本安次郎作 ＊観世流	1923年 (大正12)8月楊谷寺刊		未刊謡曲集続四	京都癩谷楊谷寺に眼病を治す香水あり．その奇特譚．
047	葛加茂	辻音三郎原作 佐々木勝五郎節付 ＊観世流	1923年 (大正12)春刊		未刊謡曲集続九	土大根を薬として愛用し，その供養をした僧，盗賊に金をぬすまれんとした時，土大根の精の化身たる武士たちに救われる．
048	復興	松井小泥作 ＊宝生流	1924年 (大正13)3月(草稿)		未刊謡曲集続十二	大正大震災を描写，浅草観音の利生を述べる．
049	長之助	岩泉子風作 ＊宝生流	1924年 (大正13)4月刊	『南部藩能楽史』 宝生(昭14・1)	未刊謡曲集続九	《鶏亀》の換作で，南部長之助の功績を讃える．大正14年4月．素謡で初演．
050	南叡山	井阿弥作 ＊観世流	1926年 (大正15)2月刊		未刊謡曲集続十	大阪の僧，二上山こと南叡山に登り，皇国の神道・仏教・儒教の三教一教の哲理を三聖居士より聞く．
051	有王	平尾貴之輔作 (節付なし)	1926年 (大正15)4月	謡曲新報272号 (大15・4・1)	未刊謡曲集続一	有王，鬼界島に行き，俊寛に僧の手紙を見せ，昔語りを習く．古曲《文覚都》(有王とも別称)に通う佳作．語りに鬼が谷での康頼の猿楽わざを織り込み，夕陽をうけて沖の鵜が翼を休める姿に，迎えの船の影を見る狂乱の結びなど，上演への興味がわく．
052	三のむら	小沢好三作 ＊福王流	1926年 (大正15)11月刊		未刊謡曲集続十四	和泉茅渟の浦，三の村明神に事勝貪勝国長狭ノ命現れ，神宮皇后の異国退治の由来を語り舞う． 福王流小沢好三による明治28，29年ごろの新節付の刊行．
053	乃木夫人	阿城鶴作 ＊宝生流	1926年 (大正15)11月刊	『乃木和社』 宝生(昭2・4)	未刊謡曲集続十	乃木夫人，伊勢に詣で霊威を受け，保典の戦死にも慰かぬことを述べる．
054	森が崎	某医師作詞 福岡周斎節付 ＊喜多流	昭和初年頃刊		未刊謡曲集続十五	大森の森が崎に名医を訪ねた結核患者，鯉の精より闘病哲学を聞く．
055	悟桜蕊	奥山周逸作詞 金春七郎節付 ＊金春流	1927年 (昭和2)3月刊		未刊謡曲集続四	三輪山の悟桜蕊に奥山周逸の亡父周軒の霊現れ，茶道の奥義を語り，舞う．
056	誕生桜	漆間徳定作 大江竹雪・井上嘉一郎指導 ＊観世流	1931年 (昭和6)10月刊	『法然上人御事蹟謡曲』	未刊謡曲集続八	弁河の血縁者の香月某，誕生寺に詣で，北山桜現，誕生桜の奇特を見せる．
057	片目川	漆間徳定作 大江竹雪・井上嘉一郎指導 ＊観世流	1931年 (昭和6)10月刊	『法然上人御事蹟謡曲』	未刊謡曲集続二	法然上人の父漆間時国の霊，誕生寺に現れ，上人の木像詩参の連生に，討死の様を見せる．
058	室津	漆間徳定作 大江竹雪・井上嘉一郎指導 ＊観世流	1931年 (昭和6)10月刊	『法然上人御事蹟謡曲』	未刊謡曲集続十四	室津の友君，法然上人の教義を説き，舞う．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
059	法然	漆間徳定作 大江竹雪・井上嘉一郎指導 ＊観世流	1931年 (昭和6)10月刊	「法然上人御事蹟謡曲」	未刊謡曲集続十二	法然の母の死を稚児行実、叡山で修行中の勢至丸法然に伝え、法然浄土開宗の契機となる。初稿名、勢至丸。
060	桜が池	漆間徳定作 大江竹雪・井上嘉一郎指導 ＊観世流	1931年 (昭和6)10月刊	「法然上人御事蹟謡曲」	未刊謡曲集続五	桜が池を訪れた法然の前に、龍蛇となった蛭の皇円現れ、法然の易行道を讃える。
061	菅途	田中智学作詞 稲田禎二節付 ＊観世流	1932年 (昭和7)7月刊	「師子王歌謡篇」 (師子王全集一) 能(昭27・12)	未刊謡曲集続二	日蓮、小湊より危険を冒して鎌倉へ門出するを、弟の重友に見送らせ、父貫名重忠、母梅菊、菅途を祝す。
062	降魔	田中智学作詞 稲田禎二節付 ＊観世流	1932年 (昭和7)7月刊	「師子王歌謡篇」 (師子王全集一)	未刊謡曲集続四	上行菩薩、第六天魔王を降服する。
063	発向	田中智学作詞 稲田禎二節付 ＊観世流	1932年 (昭和7)7月刊	「師子王歌謡篇」 (師子王全集一)	未刊謡曲集続十一	日本国の法華経を守るべく、天人と白竜太子が日本に発向する。(後の羽衣)のキリを用いる。
064	代々木	田中智学作詞 稲田禎二節付 ＊観世流	1932年 (昭和7)7月刊	「師子王歌謡篇」 (師子王全集一)	未刊謡曲集続十六	代々木の明治神宮の庭掃きの仕人、明治帝の徳を讃える。
065	桜井駅	楓津守真作 金剛右京訂正 ＊金剛流	1932年 (昭和7)1月刊	「解説謡曲全集五」	未刊謡曲集続五	楠木正成、討死を覚悟し、我が子多聞丸を陣中に呼び、忠孝の教訓を与え今生の別れをする。一時、金剛流現行曲。
066	蓮華浪	□答作 ＊観世流	1932年 (昭和7)頃刊		未刊謡曲集続十七	相州龍口寺の修行者、房州小湊の蓮華浦に詣で、観音の化身なる法尼より白蓮華の縁起などを聞く。別名、小湊。(貴茂)の模作。
067	喜寿	若林勇二作 ＊観世流	1933年 (昭和8)10月刊		未刊謡曲集続三	江州河瀬の孝子、静が浦に住む老母の喜寿を祝う、謡物に近い曲。創作。
068	藤橋	作者未詳 上本清規編 ＊観世流	1933年 (昭和8)12月刊	観世(昭8・12) 梓戸謡曲界(昭9・3)	未刊謡曲集続十二	飛騨の国、船津の里の高原川にかかる藤橋に関する悲話伝説に基づいた地方謡、古曲の改作らしい。
069	浮橋	春田東二郎作 ＊観世流	1936年 (昭和11)11月刊	宝生(平2・8)	未刊謡曲集続八	鈴蘭橋の霊、橋に現れ、吉備津宮の神主に、橋が延宝元年に岩国藩主の民苦救済のためにかけられたことを語り、龍となって奇特をみせる。別名、鈴蘭橋。
070	佐渡詣	田村文吉作 観世喜之節付指導 ＊観世流	1935年 (昭和10)1月刊	謡曲界(昭17・12)	未刊謡曲集続五	桜井龍遠原作・田村文吉修補(真野詣)の改作曲。
071	土僧	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	「芸之巻」	未刊謡曲集続九	山中寺の僧、観音の示現を信ぜず、洞の中に土僧となって十年、次代の僧や信者に掘り出され、蘇る。この曲のキリの拍を〈和光〉という由。
072	深山かづら	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	「芸之巻」	未刊謡曲集続十四	老木を枯らす紅葉する葛かづらを伐ろうとする樵人の前に、紅葉の精が現れ、伐ることを止めさせ、舞う。
073	五月雨	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	「芸之巻」	未刊謡曲集続五	宇治川の辺りの者、用を渡って毎夜訪れる女に英をこめ、その住家を訪ね杉の木の下の寺に行く。読経すると、女の霊が現れ、五月雨の中、法力によって妄念を晴らす。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
074	竹取の翁	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	『雲之巻』	未刊謡曲集続八	八月十五日夜，帝の衛士が守るも，月人来りて，かぐや姫を天上に連れ去り，竹取の翁歎き我される。
075	碁盤	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	『雲之巻』	未刊謡曲集続七	玄宗の時代の碁士，後醍醐山の滝に夜籠りして，青龍より碁の秘伝を受ける。
076	蟬丸	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	『雲之巻』	未刊謡曲集続七	〈蟬丸〉の一部を改作した曲で，同文の所が多い。
077	海の幸	山階修作・節付 ＊観世流	1935年 (昭和10)4月刊	『雲之巻』	未刊謡曲集続一	〈王井〉の翻案曲，ほぼ同じ筋。
078	水間寺	杉江桜国作・節付 ＊観世流	1937年 (昭和12)2月刊		未刊謡曲集続六	和泉の水間寺に龍神現れ，奇特を見せる。
079	鹿島	喜多六平太改作訂正 ＊喜多流	1937年 (昭和12)11月	喜多(昭12・12)	未刊謡曲集続六	勅使，常陸の鹿島神社に参り，奇特に逢う。水戸烈公徳川斉昭作(変石)を，昭和12年，喜多流で改作復活する時〈鹿島〉と改名した。
080	桜井	喜多六平太訂正 ＊喜多流	1937年 (昭和12)11月初演	喜多(昭12・10)	未刊謡曲集続五	桜井の駅にて，楠木正成，正行を諭して故郷に帰らしめる。クセは「楠公父子訣別」にほぼ一致。幕末維新ごろの古曲を改作し，昭和12年，喜多流が現行曲に組入れた。
081	正高	杉江桜国作・節付 ＊観世流	1938年 (昭和13)4月刊		未刊謡曲集続十三	南朝の忠臣，楠木正高霊の霊，紀州大木の里に顕れ，昔を語る。岸和田在住の作者は他にも郷土に取材した〈水間寺〉〈牛滝〉〈和泉の宮〉〈鮎地蔵〉などを作っている。
082	宣長	牛江卯助作 ＊観世流	1935年 (昭和13)9月刊		未刊謡曲集続十	国学者の本居宣長(シテ)の事績を題材とし，平田篤胤(ツレ)を配して皇道発揚の意をこめる。作者は松阪の人。
083	荒木又右衛門	浅野儀史作 ＊喜多流	1938年 (昭和13)10月刊		未刊謡曲集続一	渡辺数馬，姉婿荒木又右衛門の助力で用合又五郎を討つ。
084	義仲寺	京塚杜葉(友助)作		如水会報(昭13・11) 生徒「蹴尖屋」 『桃寿』(昭59・2)	未刊謡曲集続三	伊勢の俳人，近江の義仲寺に詣で，芭蕉(前ジテ)，義仲(後ジテ)の霊に逢う。
085	牛滝	杉江桜国作・節付 ＊観世流	1938年 (昭和13)10月刊		未刊謡曲集続一	和泉牛滝山に大威徳明王現れ奇特を見せる。
086	蛭の湯	小林喜城作 ＊宝生流	1938年 (昭和13)頃	宝生(昭57・9)	未刊謡曲集続一	田沢湖の龍神，辰子姫の伝説に取材した地方謡曲。
087	和泉の宮	杉江桜国作・節付 ＊観世流	1939年 (昭和14)5月刊		未刊謡曲集続一	和泉の宮の神祭の日，神霊顕れ，縁起を語る。
088	夢殿	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1943年 (昭和18)4月初演	『新作能縁起』	未刊謡曲集続十六	夢殿に聖徳太子の霊現れ，富士山に飛び翔った奇瑞などを見せる。1939(昭和14)年9月成稿，一時，喜多流現行曲。
089	鷲門山	小林静雄節付 ＊観世流	1940年 (昭和15)11月刊	九曜星(昭15・12) 観世(昭17・6)	未刊謡曲集続二	筑前鷲門山神社に玉依姫の霊現れ，舞う。
090	青丹吉	高浜虚子作詞 桜間金太郎節付 ＊金春流	1939年 (昭和14)刊		未刊謡曲集続十 〈時宗〉に習殺	昭和14年，日本放送協会から，「奈良朝のことを謡に作ってくれぬか」との依頼により作ったという。舞囃子物。
091	時宗	高浜虚子作詞 桜間金太郎節付 ＊金春流	1940年 (昭和15)11月放送，41年11月刊，42年12月初演	謡曲界(昭15・10) 「典の経過」「葵殿日記」など	未刊謡曲集続十	時宗の霊，蒙古襲来を退りぞけることを見せる。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
092	和気清麻呂（わけのきよまろ）	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1940年 (昭和15)11月成稿 1941年(昭和16)5月京都護王神社にて素謡奉献.	『能楽新楽抄』	未刊謡曲集続十七	万世一系の皇統を守り忠臣と高く評価された和気清麻呂に取材した脇能.
093	芭蕉（ばしょう）十八楼	J・T生作 (節付なし)		謡曲界(昭16・1)	未刊謡曲集続六	芭蕉の霊, 長良川畔十八楼のほとりに現れ, 俳諧の道を語り舞う.
094	二宮（にのみや）	井口昇二郎作 斎藤香村改作 観世喜之節付 ＊観世流	1941年 (昭和16)4月刊	謡曲界(昭16・10)	未刊謡曲集続十	二宮尊徳の神霊現れ舞う. (二宮尊徳)とも.
095	鮎地蔵（あゆじぞう）	杉江桜国作・節付 ＊観世流	1941年 (昭和16)5月刊		未刊謡曲集九	岸和田鮎地蔵尊の縁起に取材. 鮎に乗った天性寺地蔵, 悪魔を退散す.
096	宗祇（そうぎ）	大谷正雄作詞 菊池忠次節付 ＊観世流	1941年 (昭和16)5月刊		未刊謡曲集続七	宗祇尽し伝説に取材. 白河の万句興行の由を聞き訪れ, 東鳥の宮に住える龍神の奇特を見る.
097	琴（こと）	奥山愚潭作 ＊宝生流	1941年 (昭和16)5月刊	宝生(昭18・3)	未刊謡曲集続四	小督が愛用した琴の精, 嵯峨野に現れ, 小督の自殺を語り, 成仏す.
098	親鸞（しんらん）	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1941年 (昭和16)8月刊	観世(昭16・10)	未刊謡曲集続六	常陸夜叉堂での親鸞上人の法難を描く. 霊感を得て思想普導の目的のためわずか五日間で作詞節付を終えたという. 竹中実新作謡曲26曲の中の冬女作.
099	善光寺詣（ぜんこうじもう）で	高浜虚子原作 ＊観世流	1941年 (昭和16)	謡曲界(昭16・10)	未刊謡曲集九	036《鉄門》(大正5・1)の改作曲.
100	遊山（ゆさん）	小林静雄作詞・節付 ＊観世流	1941年 (昭和16)	観世(昭16・10)	未刊謡曲集続二	五瀬の命(みこと), 紀州遊山に現れ, 奇特を見せる.
101	八咫烏（やたがらす）	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1941～43年(昭和16～18)頃		未刊謡曲集続十五	神武東征の道先を勤めた八咫烏が, 思貧に遇った八蜘に現れ, 先導の有様を見せる.
102	クレオパトラ	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1941年(昭和16)8月～45年(昭和20)8月以前		未刊謡曲集続三	ニジプトナイル河のほとりにクレオパトラの霊現れ, 夫アントニウスの自害, 自らも毒蛇に殺されたことなどを語る.
103	雲井蓮（くもいれん）	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1941年 (昭和16)8月～45年(昭和20)8月以前		未刊謡曲集続三	蓮の花が美しい雲井の蓮の旧跡に, 雲井の姫の霊現れて, 昔を語り舞う.
104	蒙古襲来（もうこしゅうらい）	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1941年 (昭和16)8月～45年(昭和20)8月以前		未刊謡曲集続十五	河野通有の霊, 箱崎宮に現れ, 二度の蒙古襲来を語る.
105	水漬屍（みづくかばね）	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1941年 (昭和16)8月～45年(昭和20)8月以前		未刊謡曲集続十四	山口多聞提督が航空母艦と共に太平洋に沈んだことを描く.
106	世阿弥（ぜあみ）	竹柴建造作詞 金剛巌節付 ＊金剛流	1941年 (昭和16)8月作 1942年(昭和17)12月刊	謡曲界(昭16・10)	未刊謡曲集続七	世阿弥, 配所の佐渡の満福寺の住僧に花やかなりし昔と, 元雅に早世された悲しみとを語り, 元雅を偲んで舞う.

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
107	忠霊（ちゅうれい）	観世会委員会作 浅見真隆作詞・節付 ＊観世流	1941年 (昭和16)11月観世錦之丞(華雪)初演，同月謡本刊行	観世(昭16・11・12，17・1) 謡曲新報号460(昭16・12)	未刊謡曲集続九	靖国の杜頭に，聖戦の楯となった忠霊顕れ，戦いのさまを語り舞う，時局物として迎えられ，レコードも発売，1942年イタリア語訳の謡本「Le Anime Fedeli(CIURED)」(和綴本)も発行された．
108	象潟（きさがた）	小杉放庵作詞 谷村直次郎節付 ＊観世流	1941年 (昭和16)11月刊		未刊謡曲集続三	象潟に芭蕉の霊現れ舞う．
109	英勝時宗（えいしょうときむね）	手林正良作 (節付なし)	1942年 (昭和17)2月	宝生(昭17・9)	未刊謡曲集続二	「シンガポール陥落を記念すると共に，泰国首相ピブン氏の英断に敬意を表して」作った由で，北条時宗を現在物として扱う．
110	山田長政（やまだながまさ）	小林静雄作 (節付なし)	1942年 (昭和17)4月	観世(昭17・4)	未刊謡曲集続十五	タイ，ビルマ国境にある長政の墓に，長政とその子阿国の霊現れ，大東亜の聖戦に参加せんとする．
111	頼如（らにょ）	上岐善磨作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1942年 (昭和17)4月成，6月試演	「新作能縁起」	未刊謡曲集続三	信長と戦って死んだ頼如の弟子の鈴木飛騨守重幸の霊，頼如の徒を讃え，戦いの様子を語り舞う，頼如上人三百五十回御遠忌能．(頼如上人)とも．
112	義経（よしつね）	高浜虚子作詞 観世銕之丞(華雪)節付 ＊観世流	1942年 (昭和17)4月放送，同8月初演・刊	観世(昭17・3)	未刊謡曲集続十六	大陸に渡った義経，ジンギスカンとなる．その霊，胡北の地に現れる．
113	朱亜の光（しゅあのひかり）	渕野義之助作 ＊観世流	1942年 (昭和17)6月成稿	能楽往来675号(昭18・2・5原作) 謡曲界(昭18・3改作)	未刊謡曲集続四	秀吉の霊，大東亜戦争前半の勝利を寿ぎ，併せて戦勝を祈る．作者は朝日新聞社顧問．公表曲・草作の二種がある．
114	一之宮（いちのみや）	野口宗治郎作詞 清水太三郎訂正 ＊観世流	1942年 (昭和17)9月刊		未刊謡曲集二十	近江国建部神社に，日本武尊の神霊現れ，伊吹山討伐のことなどを語る．難解冗漫な曲．
115	軍神（ぐんしん）	奥島墨源作 (節付なし)	1942年 (昭和17)12月草稿		未刊謡曲集続二十	1941年12月の真珠湾攻撃における忠霊軍神各勇士の奮戦状況を描く，謡曲の体裁をなさない戯作．
116	正行（まさつら）	上岐善磨作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1943年 (昭和18)1月	喜多(昭18・1) 1944年(昭19)9月謡本刊 『能楽新来抄』	未刊謡曲集続十三	四条畷に正行の霊顕れ，合戦の有様を語る．
117	宮崎城（みやざきじょう）	日高重孝作 (節付なし)	1943年 (昭和18)5月刊	「日向の山彦」(昭29)	未刊謡曲集続十四	建長五年，宮崎城を死守し切腹した権藤種盛の奮戦記．
118	草薙剣（くさなぎのつるぎ）	佐吉少尉作詞 観世銕之丞(華雪)節付 ＊観世流	1943年 (昭和18)5月刊・初演	観世(昭18・5)	未刊謡曲集続十四	大東亜聖戦の皇軍，赤道神の助けで赤道の難関を乗り切る．別名，赤道祠．
119	桜桜（さくらさくら）	小林静雄作詞 観世銕之丞節付 ＊観世流	1943年 (昭和18)8月刊	観世(昭18・5)	未刊謡曲集続十一	筑紫の国魔山に詣でた大江匡房の前に，桜桜の霊顕れ，桜桜の謂れを語り舞う．謡本の表題・扉書に「宝満山」とある．
120	姿ちてし止まむ（すがたちてしとどまむ）	竹腰建造作 (節付なし)	1943年 (昭和18)	謡曲界(昭18・6)	未刊謡曲集続一	米英撃滅の祈願を籠う，(翁)に擬した祈願曲．
121	大雅（たいが）	京都絵画専門学校 能楽研究会作	1943年 (昭和18)	観世(昭18・8)	未刊謡曲集続七	池の大雅の霊現れ，舞う．別名，池大雅．観世流の稽古であったか．
122	青衣女人（しょうえのにょにん）	上岐善磨作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1943年 (昭和18)10月初演	喜多(昭18・6) 『能楽新来抄』『新作能縁起』	未刊謡曲集続六	二月堂のお水取りの伝説に基づいた青衣女人の物語と，光明皇后の伝説も加える．喜多流現行曲．1952(昭和27)年9月謡本刊行．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
123	奥の細道	高浜虚子作詞 桜間金太郎節付 ＊金春流	1943年 (昭和18)10月放送 同11月初演	「「奥の細道」「続続日記」など」	未刊謡曲集続二	芭蕉、市振の宿で、伊勢へと同行を頼む遊女と同行せず、別れの舞を舞って出立つ。芭蕉二百五十年忌記念。
124	恋塚	竹腰建造作 ＊金剛流	1943年 (昭和18)	潮玄4(昭21・10)	未刊謡曲集続四	滝口に失恋し自殺した横笛の墓を滝口訪れる。横笛の霊現れ舞を舞う。
125	内船板	渋谷俊作 ＊宝生流	1943年 (昭和18)草稿 1954年(29)2月 現本秀雄節付		未刊謡曲集続二十	昭和18年1月、ガダルカナル島にて奮戦、壮烈な戦死を遂げた若林東一大尉(内船出身)の有様を、部下大野雅財、母を訪ねて語る。
126	玉砕	吉田魯洋作 ＊宝生流	1943年 (昭和18)～44年 (昭和19)頃草稿		未刊謡曲集続二十	1943年1月のガダルカナル島玉砕を扱った曲で、事実の羅列が長々と続く冗漫な作品。未定稿。
127	元寇	土岐善麿作 (節付無し)	1944年 (昭和19)8月	能楽(昭19・8)	未刊謡曲集続三	時宗の霊、円覚寺の祖元禅師に元寇のことを語り、フビライの霊現れ敗戦を語る。戦意高揚の脚物。
128	利休	土岐善麿作 (節付無し)	1948年 (昭和23)1月 草稿 (未定稿)	能評12号(昭23・1)	未刊謡曲集続十六	大慈寺古溪和尚、流されて筑紫へ赴く途中、大坂で利休の娘と逢うところに、利休の霊現れ、茶道哲学を説く。
129	蓮如	三品頼直作詞 金剛巌節付(予定)	1948年 (昭和23)8月草稿		未刊謡曲集続十七	山科本願寺に詣でた北国の念仏僧の前に蓮如上人に終生付き添った道西坊善従と妹妙清尼の霊顕れ、善悪の報物のことなどを語る。やがて観世音が天女の姿で現れ、安養浄土の荘厳を讃え、舞う。蓮如上人四百五十回忌記念曲。
130	鷹の泉	横道萬里雄作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1949年 (昭和24)10月試演	喜多(昭24・9) 「能 本質と展開」	未刊謡曲集続八	絶海の孤島に不死の泉を求めて朽ち果てた老人の怨霊、同じく水を求めてやってきた若者、泉を守る鷹。W・B・イェーツ原作「鷹の井にて」の翻案。
131	法隆寺	竹中実作詞・節付 (謡写印刷本) ＊観世流	1950年 (昭和25)9月刊		未刊謡曲集続十二	法隆寺に詣でた東山の僧の前に、聖徳太子の霊顕れ、昔を語り、舞う。
132	金野	津村紀三子(芳紅鶴)作詞・節付 ＊観世流	1950年 (昭和25)9月成稿	「散り来る花に」	未刊謡曲集続一	額田王の万葉の歌に取材。金野に額田王の霊現れる。
133	差羅草	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	創作年月不詳 (1950年末か)	「散り来る花に」	未刊謡曲集続五	百合(ゆり)の精、伊須気余理比売に憑依し、百合咲く家にて帝と契り、后宮に入った昔を、大伴家持に語り舞う。
134	実朝	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1950年 (昭和25)11月初演	「新作能縁起」	未刊謡曲集続五	実朝の霊、鶴岡八幡に現れ、殺された時の有様を語る。1955(昭和30)年4月謡本刊、喜多流現行曲。
135	熟田津	北川忠彦作詞 宝生弥一節付 ＊下掛り宝生流	1951～2年 (昭和26～7)頃			伊予国、熟田津の里を訪れた山部赤人の前に、額田王の霊顕れ、石湯の謂れを語り、舞う。京都大学を病気休学中(2年間)の作品で、作者の父が、同郷で親交のあった宝生弥一に節付と添削と清書を依頼したという。
136	藤物狂	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1951年 (昭和26)3月成稿	「散り来る花に」	未刊謡曲集続十二	承久の乱で夫に死別した狂女、后須の夫の弟に預けた姫と、藤の名所牛島薬華寺の法会で逢う。
137	鶏	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1951年 (昭和26)5月成稿	「散り来る花に」	未刊謡曲集続九	歌枕「吹飯の浦」を舞台に、鶏に託して皇子誕生を祝った曲。飛び交う鶏の舞を描く、美しく清純な小品。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
138	法華	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1951年 (昭和26)3月成稿・1966年(昭和41)4月初演	「散り来る花に」	未刊謡曲集続十二	日蓮，伊豆に流され命を落としかけるも，舟守の弥三郎に救われる．
139	衣の川	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1951年(昭和26)2月成稿	「散り来る花に」	未刊謡曲集続四	八幡太郎義家をシテに，有名な衣の川，安倍貞任との連歌の応酬に取材した修羅物．
140	本願寺	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1951年 (昭和26)2月刊		未刊謡曲集続十二	親鸞上人の霊，本願寺に現れ，真宗の教義を説き舞う．
141	智恩院	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1951年 (昭和26)2月刊		未刊謡曲集続九	法然の霊，智恩院に現れ，昔を語る．
142	若紫	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1951年 (昭和26)9月刊		未刊謡曲集続十七	都六条京極あたりの若紫の旧跡に，若紫の霊現れ，昔を語り，舞う．
143	明石	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1951年 (昭和26)10月刊		未刊謡曲集続一	明石の上の霊，明石に現れ，光源氏との事を語り，舞う．
144	秀衡	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1951年 (昭和26)11月中尊寺で初演	「新作能縁起」	未刊謡曲集続十一	金色堂に祈る義経を秀衡の霊が励ます．喜多流現行曲．
145	北野	竹中実作詞・節付 ＊観世流	1952年 (昭和27)2月刊		未刊謡曲集続三	道真の霊，北野に現れ，昔を語り舞う．
146	鶴富	日高孟孝作詞 石川菊雄節付(謄写印刷本) ＊観世流	1952年 (昭和27)2月刊		未刊謡曲集続九	那須宗久に愛された熊葉の鶴富母子の霊現れ，宗久を忍び舞う．同材類曲に182(熊葉)がある．
147	出雲井	平田礼次郎作 ＊観世流	1952年 (昭和27)3月草稿		未刊謡曲集続六	河内牧岡の出雲井の主の翁現れ，茶道と人道の理想を語り，舞う．1969年(昭和44)年喜寿記念に改訂．
148	重衡	竹中実作詞・節付 ＊観世流	1952年 (昭和27)4月刊		未刊謡曲集続五	東大寺に重衡の霊現れ，昔を語る．素謡で初演．
149	及面	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1952年 (昭和27)7月	「散り来る花に」	未刊謡曲集続十二	日蓮上人と水戸光圀との双面の物語．日蓮上人の法華の利益で，光圀した経が顕える．
150	船の口	斎藤香村作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1952年 (昭和27)8月初演		未刊謡曲集続八	日蓮七百年遠忌に日蓮の霊大石寺に現れ，船の口での法難を語り，法華経を説える．
151	鬼界ヶ島	小西甚一作詞 観世寿夫節付 ＊観世流	1952年 (昭和27)11月初演	能楽タイムズ12号(昭28・2)	未刊謡曲集続二	上田秋成「雨月物語」の中の「青頭巾」を脚色．別名，青頭巾．
152	綾鼓	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1952年 (昭和27)11月作，同12月初演	「新作能縁起」	未刊謡曲集続一	宝生流(綾鼓)の改作で，詞章の改訂はシテと短謡の部分に限られ，ワキの文句はほぼそのまま．喜多流現行曲．
153	楊貴妃	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1952年 (昭和27)年9月刊		未刊謡曲集続三	石山寺に参籠の僧，雲客にまかせ愛宕寺に詣でると，楊貴妃の霊現れ，昔を語り，舞う．
154	祇園	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1952年 (昭和27)年2月刊		未刊謡曲集続三	播州広峰の神主，都の祇園に詣で祇園会を見物，祇神素盞嗚命の大蛇退治の奇特を見る．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
155	銀閣寺(ぎんかくじ)	竹中実作詞・節付(謄写印刷本) ＊観世流	1952年(昭和27)9月頃		未刊謡曲集続三	足利義政の霊、銀閣寺に現れ、昔を語る。
156	竜蛟(りゅうこう)	片山廣次郎作	1953年(昭和28年)	観世(昭28・8)	未刊謡曲集続四	放浪の詩人、人里遠き絶しき渓で、月よりの美女嬢娘の天降り、舞う奇瑞を見る。別名、月の宮姫。
157	山窟山(やまのいわや)	横道萬里雄作詞・節付(謄写印刷本) ＊観世流	1953年(昭和28)11月素謡で初演	松阪の文学資料選集一(松坂高校郷土部)	未刊謡曲集続十五	本居宣長百五十年祭での、宣長顕彰曲。シテ観世喜之、1965(昭和40)年6月改正版頃。
158	後の羽衣(のちのはごろも)	田中智学作詞 田中好一・田中允補修 ＊観世流	1953年(昭和28)9月初演	「黎明の四悲」(昭48)	未刊謡曲集続十	1919(大正8)年作原作の短縮改作。
159	綾の鼓(あやのつづみ)	堂本正樹作(節付なし)	1954年(昭和29)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続一	宝生流(綾鼓)の改作であるが、詞章はワキ・シテ・ツレ・地謡とも改め、前ジテ老人の登場をアシライ出シとし登場歌を設けるなど、随所に創意がみられる。
160	解放(かいほう)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和30)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続二	ゴーレム、悪王の民の搾取から民を開放する。
161	悲衣(ひえ)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和31)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続二	(求塚)の趣向を借り舞台をローマ帝国の時代にとる。ローマ帝国セヴェルスの太子で清く優しい少年トアスと、皇帝の盟友ニゲル将軍の長子で強く賢い青年ムウサとの、愛と死の悲しい物語。
162	炎(ほのお)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和32)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続十二	戦乱で家族を失い狂女となった老女、武将の前で惨死、孫のみ残り武将を見送る。
163	氷(こおり)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和33)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続十四	砂漠の中で我が子を亡くした女の霊、水を求めて夢中に狂う。
164	森(もり)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和34)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続十五	森の精、森の変遷を語る。50年も前に「環境破壊」に着目し劇化した点に先見の明がある。
165	春(はる)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和35)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続十一	岡本綺堂「平家蟹」に拠る。平家に仕える朝霞、裏切者の姉川篤夫を毒殺し、平家の亡霊に引かれて舞い、海中の都に行く。
166	女郎岸風(じょろうがしかぜ)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和36)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続十五	岸風に飛び込み、女郎と契った男の霊の怨み。
167	蛙ヶ沼(かえるがぬま)	堂本正樹作(同上)	1954年(昭和37)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊(私家版、謄写印刷)	未刊謡曲集続二	水を濁したため、水を飲もうとした女神の祟りにふれ、蛙に変身させられた男の霊が蛙が沼に現れ、一年に一日しか人語を話せず、孫に踏み殺された苦しみを語る。1998年(平成10)大槻文蔵第付演出で巡演。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
168	南都炎上	堂本正樹作 (同上)	1954年 (昭和38)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊（私家版，謄写印刷）	未刊謡曲集続十	平氏による南都焼打ちの魔燈を訪ねた下京の男，興福寺の老僧から炎上の有様を聞く，やがて魔界の群鬼が炎のうちに現れ，聖武帝の霊を呼び出し，苦悩のさまを見せ，天女登場し浄化の舞を舞う．田中允が堂本作品の中では「最も面白そうな秀作」と評価している．
169	滅亡	堂本正樹作 (同上)	1954年 (昭和39)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊（私家版，謄写印刷）	未刊謡曲集続十五	国教徒主の姫，騎士カーレットを恋し，その恋人を殺し，自らはカーレットに殺される魔女の怨い．
170	雪霧	堂本正樹作 (同上)	1954年 (昭和40)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊（私家版，謄写印刷）	未刊謡曲集続十六	雪の降りしきる京の都，雪が舞い降りるように二人の雪乙女が舞い遊び，御苑の池の水に戯れ飛ぶ白鷺の舞．田中允が「新作はかくあるべしとの見本のような曲」で「新しい様式の幽玄な舞を考えれば，十分鑑賞にたえる作曲」と賞讃．
171	燈台	堂本正樹作 (同上)	1954年 (昭和41)	『僕の新作能』1954年(昭和29)刊（私家版，謄写印刷）	未刊謡曲集続十	嵐のため夫に死なれた妻，神に燈台を作り，死して霊となり，女船頭となって旅人を燈台に船で誘い，火を入れんとして蛍になる．漁夫その燈台の火で一命を助かる．やがて夫婦の幽現れ，大調和の舞を舞う．
172	原爆	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1955年 (昭和30)5月刊		未刊謡曲集続三	原爆の犠牲者の霊，広島に現れ，原爆の惨状を語る．
173	御香宮	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1956年 (昭和31)4月刊		未刊謡曲集続四	伏見の霊水湧く御香宮に，祭神の神功皇后と白菊明神現れ，奇特を見せる．昭和32年4月，御香宮正遷宮奉祝祭に素謡で初演．
174	清盛	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1956年 (昭和31)4月刊		未刊謡曲集続三	熊津経の島に清盛の霊現れ，地獄に落ちて苦しむ様を見せる．
175	開雲山	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1956年 (昭和31)4月刊		未刊謡曲集続十	乃木将軍の霊，終頃の開雲山に現れ，昔を語る．佐山乃木神社の依頼で作ったものという．
176	智恵子抄	高村光太郎詩 観世孝夫節付 武智鉄二演出 ＊観世流	1957年 (昭和32)4月初演		未刊謡曲集続九	『智恵子抄』の中から，人に・愛の頌美・樹下の二人・狂死する牛・人生送視・風にのる智恵子・千鳥と遊ぶ智恵子・山麓の二人・レモン哀歌・荒涼たる精神，の十篇と歌一首を配列．現代詩を能にした最初の作品．
177	復活のキリスト	吉田魯洋作詞 宝生九郎節付 ＊宝生流	1957年 (昭和32)4月初演	宝生(昭32・5)	未刊謡曲集続十二	マグダラのマリヤとヤコブの母マリア，キリストの墓を訪ね，墓があばかれているのを嘆き悲しむ，やがて奇しき光のなかキリストが復活し，舞う．
178	河童	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1957年 (昭和32)9月刊		未刊謡曲集続二	近江の蛭留沼の畔に女河童の霊が現れ，昔自分を救ってくれた該僧に，報恩のための葛の葉と名乗る上臈となって現った事などを語り，懺悔の舞を舞う．
179	なよたけ物語	中河与一作詞 宝生九郎・芝祐久節付 ＊宝生流	1957年 (昭和32)11月放送	宝生(昭32・12)	未刊謡曲集続十	『竹取物語』に基づく作品．能の囃子に芝による雅楽も加わる新趣向がこらされた．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
180	四面楚歌	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1958年 (昭和33)1月初演	『新作能様起』	未刊謡曲集続六	『史記』に見える項羽と虞氏の四面楚歌の故事に拠る．1978年(昭和53)2月，喜多流刊行会発行の稽古本がある．
181	飛龍	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1958年 (昭和33)4月刊		未刊謡曲集続十一	山口二多聞提督の霊，ミッドウェイ島に現れ，ミッドウェイ海戦で沈んだ空母飛龍と運命を共にした事を語る．
182	椎葉	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1958年 (昭和33)9月刊		未刊謡曲集続五	天野遠景，頼朝の命で日向椎葉に平家の残党藤原時定の娘鶴富と暮していた奉行人后頃大八郎宗久を連れ戻す．(千手)の提作．
183	鶴	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1959年 (昭和34)1月初演	『新作能様起』	未刊謡曲集続九	赤人の歌「和歌の浦に…」に詠まれた鶴が翼をひろげ悠々と舞う．中勘助の「つるの話」をヒントに，喜多実が(鶴)とは異趣の演技を意図して土岐善麿に委嘱し，赤人の歌に想を得て作ったという．小品ながら清高至純な能．喜多流現行曲．
184	人魚	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1959年 (昭和34)4月刊		未刊謡曲集続十	和歌の浦に，友子島沖に住む人魚の霊現れ，その美しき姿で多くの舟人を魔の淵に沈めた罪を懺悔し，銀波の舞を舞う．
185	朝日新聞	岡野養之助作詞 上野義三郎節付 ＊観世流	1959年 (昭和34)7月刊(原作は昭和12年成)		未刊謡曲集続一	第三回欧神風号の成功を記念して朝日新聞を讃えた曲．社主村山龍平による創刊前後の経緯や降々たる社勢，洋々たる前途を祝福する．大阪朝日新聞創刊八十年を記念して再刊された．
186	白虎隊	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊観世流	1959年 (昭和34)9月刊		未刊謡曲集続十一	白虎隊士の霊，飯盛山に現れ，昔を語る．田中允は竹中実の一連の新作能のなかでは最もよいと評価している．
187	水分	伊藤佐太郎作 上田照也節付 ＊観世流	1960年 (昭和35)年2月刊		未刊謡曲集続十四	伊勢と大和の国境，高見山玉岡に，水分明神の神霊現れ，神慰を語り，舞う．
188	君が代	里見岸雄作詞 本庄秀男節付 ＊金春流	1960年 (昭和35)10月靖国神社で初演		未刊謡曲集続三	国歌「君が代」を称んずる者を，白龍・天人現れて戒める．原意田中智学，発願田中守一．
189	使徒パウロ	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1960年 (昭和35)11月初演	『新作能様起』	未刊謡曲集続六	聖書の使徒行伝第七・第八・第九等の諸章に拠り，パウロの書簡を参考にした曲．キリスト教に取材した能．一時，喜多流現行曲で，昭和38年5月刊の謡本もある．別名，パウロ．
190	蝶蝶の雨	青井勇作詞 片山博通節付 ＊観世流	1960年 (昭和35)12月初演		未刊謡曲集続五	芭蕉の『嵯峨日記』を謡物風に仕立てた短編．はじめ，舞囃子，後に能として上演．
191	親鸞	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1961年 (昭和36)3月刊，同4月初演	『新作能様起』	未刊謡曲集続六	親鸞の傍室恵信尼の霊，常陸の国，稲田に現れ，下妻の夢想を語り，聖人を忍んで舞う．親鸞上人七百回大遠忌記念の曲．一時，現行曲となり謡本も発行された．
192	平安	藤代禎輔原作 片山博通改作 観世左近節付 ＊観世流	1961年 (昭和36)6月初演		未刊謡曲集続十二	1915年(大正4)，大正天皇即位の御大典奉祝のための新作された(大典)を，どんな慶事にも使えるように改作し改題したもの．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
193	大塔宮	堂本正樹作詞 中森晶三節付 ＊観世流	1961年 (昭和36)10月初演		未刊謡曲集続七	大塔宮の御窓前の方の霊現れ，宮の最期を語るうち，土牢光り輝き，宮の霊が出現，舞を舞い，殺害された昔を語る．
194	和霊	斉藤日向作詞 片山博通節付 ＊観世流	1962年 (昭和37)5月初演		未刊謡曲集続十七	鉄砲屠士，宇和島の和霊の宮を訪ね，和霊の祭神，山家公頼の霊より，宮の縁起，忠臣公頼霊殺の話を聞き，和霊丰の舞を見る．
195	世阿望憶	片山博通作詞・節付 ＊観世流	1962年 (昭和37)6月初演	文学(昭38・1) 観世(昭38・5)	未刊謡曲集続七	世阿弥，石山寺で過去を思い，砧，百万を謡い舞い，元雅の死を悲しみ隅田川を手向け，妙花風の女性に慰められ，よろよろと立去る．世阿弥生誕六百年記念能．初名，世阿弥．
196	復活	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1963年 (昭和38)4月初演，昭和39年5月刊	『新作能縁起』	未刊謡曲集続十二	マルコ伝，ヨハネ伝に取材し，キリストの受難と復活を描く．前ジテ・マグダラのマリア・後ジテ・キリストほか．喜多流現行曲．
197	百塚	浅見真健作詞・節付 ＊観世流	1963年 (昭和38)6月初演	観世(昭38・6)	未刊謡曲集続十五	能の修行者，結崎を尋ね，面塚の由来を聞き，軍屋の菩薩より能の由来を教わる．世阿弥生誕六百年記念能．
198	川中島	竹中実作詞・節付 (謄写印刷本) ＊喜多流	1963年 (昭和38)9月刊		未刊謡曲集続二	謙信の霊，善光寺に現れ，善光寺の謂れ，川中島合戦の様を語る．
199	鑑真和上	土岐善麿作詞 喜多実節付 ＊喜多流	1964年 (昭和39)4月初演	大法輪(昭39・3) 能楽タイムズ147，149号(昭39・6・8) 『新作能縁起』	未刊謡曲集続二	鑑真の霊，来日布教のことを語る．鑑真和上円寂一千二百回忌記念．
200	家持	稲垣富夫作詞 (節付なし)	1965年 (昭和40)3月刊	美夫君志6(昭40・3) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十五	家持の霊，越中布勢の円山に現れ，昔を語り舞う．作者の『世阿弥の方法で万葉を書く』という主張を実現した最初の作品．(藤)に学んだ点が多い．
201	雅公園	稲垣富夫作詞 (節付なし)	1965年 (昭和40)3月刊	美夫君志8(昭40・3) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十二	弓削の皇子，明日香に住び住まいする老いたる額田王を訪ね，「あかねさす…」の歌の次第や，ホトトギスの歌の事などを聞き，王は追懐の舞を舞う．
202	水域	稲垣富夫作詞 (節付なし)	1965年 (昭和40)3月刊	美夫君志8(昭40・3) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十四	大伴旅人，都に帰らんとして，筑前水域に愛人児島と名残を惜しむ所に，山上憶良来り，名残の歌を詠み，都での再会を約す．初名，天離る(アマザカル)．
203	福神	神谷市太郎作 野口緑久節付 ＊宝生流	1965年 (昭和40)6月刊		未刊謡曲集続十二	福の神と，おもふくら姫との婚礼を戯化した戯作．
204	佐渡の日蓮	松野奏風作詞 早野隆太郎節付 ＊金春流	1965年 (昭和40)11月上演予定も実現せず		未刊謡曲集五	佐渡に配流の日蓮を阿仏房刺殺せんとするが，観音経の功力で果たせず，阿仏改心し舞う．昭和37年成り，40年11月上演予定が，シテ高瀬寿美之の死去により実現に至らなかった．
205	木琴	丸岡大二作詞 (節付なし)	1966年 (昭和41)1月	梅　若165号(昭41・1) 『能を見る日々』	未刊謡曲集続十五	幸田露伴『土偶木偶』に拠る作品．前妻に捨てられし妻の霊(シテ)と，船落ちの若者(ワキ)の物語．
206	鮎	稲垣富夫作詞 (同上)	1966年 (昭和41)12月刊	美夫君志10(昭41・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続一	玉島川に鮎釣る仙女現れ，大伴旅人に去られた悲話を語り，舞う．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
207	二上（ふたがみ）	稲垣富夫作詞 (同上)	1966年 (昭和41)12月刊	美夫君志10(昭41・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十二	二上山に葬られた大津の皇子の姉大伯皇女，魂乞いをすると皇子の霊現れる．(鈴田川)に学ぶか．
208	人麻呂（ひとまろ）	稲垣富夫作詞 (同上)	1966年 (昭和41)12月刊	美夫君志10号(昭41・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十一	人麻呂の霊，妻のもとに現れる．
209	御代の栞（みよのあめのはた）	浜潟久孝作詞 金剛巌節付 ＊金剛流	1967年 (昭和42)9月初演		未刊謡曲集続十四	孝明天皇百年祭記念特別舞能として平安神宮で，半能で上演．題題「孝明天皇奉頌歌」．
210	青野（あおの）	稲垣富夫作詞 (節付なし)	1967年 (昭和47)12月刊	美夫君志11(昭42・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十六	赤人，金村，聖武帝の吉野御幸に供奉し，歌問答をする．
211	真間（まま）	稲垣富夫作詞 (同上)	1967年 (昭和47)12月刊	美夫君志11(昭42・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続十三	真間の手児名の霊，真間に現れ，昔を語る．同材曲に215(手古奈)．
212	伊良湖（いらこ）	稲垣富夫作詞 (同上)	1967年 (昭和47)12月刊	美夫君志11(昭42・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続一	天武帝の臣下，従者舶頭と共に麻続王の配所，伊勢の国伊良湖島を訪ね，殺害せんとするも，娘の孝心により，そのまま帰る．
213	多摩（たま）	稲垣富夫作詞 (同上)	1967年 (昭和47)12月刊	美夫君志11(昭42・12) 『万葉能』(昭55)	未刊謡曲集続八	多摩の防人の妻黒女，押領使に夫の死を恨み，狂乱するが，やがて悟り，舞う．
214	鷹姫（たかひめ）	横道萬里雄作詞 観世寿夫節付 ＊観世流	1967年 (昭和42)12月初演	銕仮155(昭42・12・) 新潮(昭42・1)	未刊謡曲集続八	絶海の孤島，壁の木立ちに包まれた鷹の泉のほとり．不死の泉を求める皇子，島の隠遁となった老人，泉を守る鷹姫．W・B・イエーツの詩劇「鷹の井にて」による経案(鷹の泉)の改作曲．能の諸要素を生かす方向で，まったく新しく書き換えられた．現行の枠をはずした配役，半仮面をつけた岩が地謡を兼ねるなど，新風を吹き込む．
215	手古奈（てこな）	伊藤悲三作詞 平富武次郎付 ＊観世流	1968年 (昭和43)1月		未刊謡曲集続二十	万葉集の，同時に二人の男に求愛され，自ら命を絶った真間の手古奈の物語．(求塚)に学ぶ．同材曲に(真間)がある．
216	梓津（あずさづ）	佐々木老波作 佐野嶽梢筑 ＊宝生流	1968年 (昭和43)7月刊		未刊謡曲集続十五	旅僧，会津梓津の里で，虚空蔵の尊霊より縁起を聞き奇特を見る．
217	文がら（ふんがら）	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1968年 (昭和43)8月刊9月初演		未刊謡曲集続十二	文殻に崇られた老女小町に，深草の少将の霊が憑く．(卒都婆小町)に似た曲．1987年，津村禮次郎が(文殻小町)と題し改作上演．
218	女と影（おんなとかげ）	木村太良訳斯色泉嘉夫節付 ＊観世流	1968年 (昭和43)10月初演		未刊謡曲集続二	駐日フランス大使であった劇詩人，ポール・クローデル生誕百年を記念し，1958年クローデル「女と影」を能劇化した作品．1970年(昭和45)6月改訂本刊行．
219	魂の宴（たましいのうたげ）	高橋睦郎作詞 (節付なし)	1969年 (昭和44)2月	文芸(昭44・2) 『寓井』	未刊謡曲集続八	ジャンヌ・ダルクの盟者であったジル・ド・レーが，ジャンヌ火刑ののち信仰を失い，ノルマンディア城で錬金術・黒ミサ・幼児殺戮の魔宴にふけったという，いわゆるジル・ド・レー伝説による変形複式能．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
220	五重の塔（ごじゅうのとう）	丸岡大二作詞 （節付なし）	1969年 （昭和44）1月	金　春23・24号（昭44・1）　梅若237号（昭55・3） 「能を見る日々」（昭55）	未刊謡曲集続四	谷中の五重塔を作った，のっそり十兵衛の霊，五重塔を作った経緯を語る．幸田露伴「五重塔」に拠る．
221	海霊（かいれい）	宮越賢治作詞 観世元正節付 ＊観世流	1971年 （昭和46）6月初演		未刊謡曲集続二	観音崎に海霊現じ，戦没船員の霊を慰め慰を明らかにし，世界の平和を祈る．
222	雪女（ゆきおんな）	室山源三郎（三樽）作詞 梅田邦久節付 ＊観世流	1971年 （昭和46）12月成稿，初演は1985年（昭和60）12月		未刊謡曲集続十六	近江，比良山の麓で大吹雪に見舞われた郡の者，里の女の庵で，雪女の昔語りを聞く．その夜，雪女の精現れ，白銀の世界に回雪の舞を舞う．童謡「ふれふれこゆき」を巧みに生かし，雪女の恩愛の心を，詩情豊かに，美しく清らかに描き，成功している．
223	蘭城（らんじょう）	竹内六郎作 ＊観世流	1972年 （昭和47）4月刊		未刊謡曲集続八	家康の生まれた岡崎龍が城に龍持現れ，家康の徳を讃える．家康誕生伝説に基づく，いわゆる「所謡（地方謡曲）」．
224	かぐや姫（ひめ）	津村紀三子作詞・節付 ＊観世流	1973年 （昭和48）1月成稿，同3月改作，1988年（昭和63）10月初演	「散り来る花に」	未刊謡曲集続二	かぐや姫が清らかな月の光をあびながら昇天してゆく場面を中心に彩色した美しい小品．親子の別離，天命も描き，月下に怪渉序の舞を舞う．初名，月の雫．
225	塩釜（しおがま）	中川三郎作詞 佐々木蓊輝節付 ＊観世流	1974年 （昭和49）5月刊		未刊謡曲集続六	瀬戸内，塩竈の次郎の舟大将の霊，塩竈島に現れ，天正四年の合戦などの昔を語る．「叙事の長さが目立つ読み物風」の曲．
226	半獣神の午後（はんじゅうしんのごご）	木村太郎縣丞 泉嘉夫御色節付 ＊観世流	1974年 （昭和49）9月初演		未刊謡曲集続十一	マラルメの詩「半獣神の午後」を日本語としての詩に創り，能の技法，謡の唱法を用いた舞台詩的作品．
227	摩耶夫人（まやぶにん）	上田清瀛作 ＊観世流		清　業10号（昭50・10），11号（昭51・1）	未刊謡曲集続十三	津の国，摩耶山天上寺に，摩耶夫人の霊現れ，寺の縁起，摩耶夫人の来歴を語る．
228	白峯（しらみね）	中川三郎作詞 佐々木蓊輝節付 ＊観世流	1978年 （昭和53）9月刊	清　業22・23号（昭54）	未刊謡曲集続六	西行，白峯に詣で，崇高遠から崇徳上皇の配所の次第を聞き，上皇の霊よりその続きを聞く．
229	荒聞（こうぶん）	百瀬誠彦作 ＊観世流	1979年 （昭和54）9月	清　業29号（昭55・11），30号（昭56・3）	未刊謡曲集続六	弁円，親鸞を仮数山の精舎，教害せんとするも果たせず，教化されて道心と改名し弟子となる．
230	八木（やぎ）	恵知中和喜夫作 ＊観世流	1978年 （昭和53）5月発表，1981年（昭和56）年6月刊		未刊謡曲集続十五	月波，八木城主内藤有勝の霊，城跡に現れ，子孫に天正の合戦と討死のさまを語る．
231	管島（すがしま）	梶垣富夫作詞 （節付なし）	1979年 （昭和54）頃	「万葉能」	未刊謡曲集続九	弟橘姫の霊，走水に現れ，倭建命をしのび舞う．後ジテは倭建命の霊が憑依した両性具有の姿で，目新しい．
232	雷神塚（らいじんづか）	安田源太郎作詞・節付 ＊観世流	1982年 （昭和57）4月刊		未刊謡曲集続十六	土岐氏党，正平の戦いで討死し雷神となり成仏す．前ジテは氏光の妻．
233	如安（にょあん）	恵知中和喜夫作 ＊観世流	1983年 （昭和58）頃		未刊謡曲集続六	丹波国八木出身のキリスト教信者内藤如安，ルソンに迫害をのがれるも死し，その霊，ルソン島に現れ，昔を語る．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
234	寛朝	宇野信夫作詞 梅若紀彰節付 ＊観世流	1984年 (昭和59)5月刊		未刊謡曲集続二	西国の僧，成田岩鞍寺で，老翁より寺の縁起・開山寛朝僧正の物語を聞く．やがて僧正の霊現れ，昔を語る．後ジテに平将門と寛朝の霊を重ねたところが新工夫．弘法大師千五百年大遠忌の記念能．
235	本宮	中上健次作詞 (節付なし)		「図」創刊号1984年 (昭和59)12月 『中上健次全集八』		東国の者，熊野の本宮に詣で，和泉式部の霊に逢い，権現の霊を見る．作家中上健次に新作「謡曲・本宮」があったのは驚きで，後記によると，観世榮夫による上演を希望していたらしい．
236	菊水	藤井久雄作詞・節付 観世元正校閲 ＊観世流	1985年(昭和60)4月刊〔昭和新作〕	観世(昭60・8)	未刊謡曲集続三	正成の霊，湊川に現れ，戦死のさまを語り見せる．大楠公六百五十年祭記念能．
237	松坂	黒沢和雄作 ＊観世流	1986年 (昭和61)11月素謡で初演，昭和62年5月刊		未刊謡曲集続十三	江戸は松坂に吉良方の清水一学の霊現れ，討死の模を語り見せる．前ジテは一学の妻，忠臣蔵物．
238	イエズスの洗礼	門脇佳吉構成 門脇・杉浦強作舞 梅若猶彦・観世榮夫節色節付 ＊観世流	1987年 (昭和62)7月初演		未刊謡曲集続一	イエズス・キリストがヨルダン川でガラリヤ湖畔の女を洗礼した時の奇特を見せる．
239	熱田	味方健作詞・節付 ＊観世流	1987年 (昭和62)7月初演		未刊謡曲集続四	素盞嗚尊と弟彦姫の霊，熱田に現れ，草薙の剣の故事を語り舞う．
240	三十六	中川三郎作 ＊観世流	1988年 (昭和63)7月成稿		未刊謡曲集続五	白米の合戦で細川頼之に討たれた細川清氏の霊，討死した場所の三十六に現れ，討死の模を語る．
241	梨木桜	味方健改作 梅田邦久節付 ＊観世流	1988年 (昭和63)8月初演		未刊謡曲集続四	美濃の都上，山田の庄に東常縁の霊現れ，守護神妙見宮の来歴と歌島の道を語り，桜吹雪に遊舞する．連歌師宗祇が常縁から古今伝授された美濃の都上郡大和で，町おこしの一つとして古曲を基に復曲，新能で初演，以後毎年上演．
242	加賀の千代女	梶井幸代作詞 佐野通節付 ＊宝生流	1990年 (平成2)8月初演・刊		未刊謡曲集続八	加賀の国松任の里に千代女の霊現れ，俳諧風雅の道を語り，舞う．別名，朝顔．松任市市制二十周年記念の能．
243	鷹の井戸	梅若猶彦作 善竹十郎補筆 大倉正之助節付 ＊観世流	1990年 (平成2)8月初演			イエーツの詩劇(鷹の井にて)に拠る．
244	水の声	岡本章構成・演出	1990年 (平成2)11月初演，舞踊工房・三絃の会提携公演			題題，能「鷹姫」によるヴァリアント，「鷹姫」と谷崎潤一郎「鍵」と郡司太郎の詩などを組み合わせた，現代能楽集の試み．
245	石切	進藤治作 吉川清一補佐 山本琴一節付 ＊観世流	1990年 (平成2)12月石切神社で初演		未刊謡曲集続八	長髄彦の怨霊(石切剣前の神)，神武と戦うも敗れ「死して笛を返さん」と，「岸の桜に果て」た事を語る．
246	安土の聖母	門脇佳吉作詞 梅若猶彦節付 ＊観世流	1990年 (平成2)12月初演		未刊謡曲集続八	加賀乙彦の「宣告」に取材し，安土城のセミナリオの聖母像の信仰に転化させた．監修加賀乙彦．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
247	佐渡（さど）	金春信高作詞・節付 ＊金春流	1990年 （平成2）12月初演		未刊謡曲集続九	金春大夫氏信の娘，佐渡に配流の祖父世阿弥を見舞い，時めいた昔や「蟬見の見」の心を聞く．
248	鷹井（たかのい）	高橋睦郎作詞 浅見真州節付 ＊観世流	1990年 （平成2）12月初演	「鷹井」	未刊謡曲集続八	イエーツの舞踊劇「鷹の井にて」を能に翻案．横道萬里雄作（鷹の泉）（第一作），同（鷹笠）（第二作）とは全く別彩窓の第三の道を志向した作品．劇作，倭の会
249	入道塚（にゅうどづか）	井上正吉作 吉阪興村補訂	1991年 （平成3）7月	悠土たま8（平3・7）		鎌倉に住む僧，元弘三年の鎌倉関戸・分倍河原の合戦で討死した幼馴染みの阿保入道道忍の塚を訪れ，入道の霊から合戦の様を聞く．
250	世阿弥再見（ぜあみさいけん）	徳高光晴（本名，田中允）作詞・節付 ＊観世流	1991年 （平成3）9月初演		未刊謡曲集続九	20世紀末のある日，世阿弥の霊，大和の田原本，味間の補巌寺に現れ，幽玄の美と気迫の充実した能の理想を語り，元雅・信光・禅竹の霊も出現．石橋・紅葉狩・道成寺・野宮・定家の情趣を舞う．「現代人に面白い新作能」をめざした曲．
251	無明の井（むみょうのい）	多田富雄作詞 橋岡久馬節付 ＊観世流	1991年 （平成3）2月初演	『脳の中の能舞台』高志書房（1991・4）	未刊謡曲集続十四	脳死の漁夫の心臓を貰って命を助かった娘の霊．無明の井の枯れたるを嘆くところに，漁夫の霊現れ，生死の問題に悩む．脳死と，それを前提にした臓器移植の問題を鋭く問いかけた作品．
252	義教（よしのり）	島村真智子作 （節付なし）	1991年 （平成3）3月	南都私学研究紀要一中学・高校編一20号（平3・3）		足利義教に取材した修羅能．
253	竹（たけ）	観世榮夫節付 梅若六郎演出 ＊観世流	1991年 （平成3）7月初演			萩原朔太郎の詩「月に吠える」に拠る．
254	武蔵野（むさしの）	実相寺昭雄・中森晶三演出 ＊観世流	1992年 （平成4）4月初演		未刊謡曲集続十八	東京都と三多摩合併百年記念のエレクトロニクス幻能で（吉野天人）（石橋）の眼目を配列し，レーザー・シンセサイザー・エレクトーンなどを駆使，地謡と囃子は録音．
255	興教（こうきょう）	村上元三作詞 梅若六郎節付 ＊観世流	1992年 （平成4）5月初演	梅若（平4・4）	未刊謡曲集続十七	覚鑁，不動明王から高野再興の印授を受ける．初演は成田山新勝寺薪能．
256	幻（まぼろし）	笠井賢一作詞 浅井文義節付 ＊観世流	1992年 （平成4）5月初演		未刊謡曲集続十三	光源氏，女三の宮を迎えてより紫の上心乱れ，遂に死に至るを悲しみ，悩み，煩悩ノ舞を舞う．
257	雨乞世阿弥（あまごいぜあみ）	徳高光晴作詞・節付 野村蘭作・三川泉監修 ＊宝生流	1992年 （平成4）10月刊		未刊謡曲集続十一	佐渡における雨乞伝説に取材し，世阿弥の小謡集「金島書」の若州・海路・配流などを借用．雨乞の舞を舞うや雨降り来る場面で結ぶ．
258	隠岐の揆（きき）	松本安雄作詞 浅見真高節付 ＊観世流	1993年 （平成5）3月素謡で初演		未刊謡曲集続十七	藤原定家，志賀の浦で後鳥羽院の女房，ついで後鳥羽院の生霊より，承久の乱や百人一首のことなどを聞く．
259	桃園（ももぞの）	井上貫覚作 （節付なし）	1993年 （平成5）1月成稿			「源氏物語」朝顔の宴君に取材した夢幻能．間狂言も作る．
260	碩鍾（せきしょう）	太野隆作詞 松井彬節付 ＊喜多流	1993年 （平成5）3月刊同10月初演		未刊謡曲集続十六	水清らかな都上の里に，宝暦騒動のため所領を没収され南都に没した都上八幡第十二代金森碩鍾の霊現れ，昔を語り舞う．宝暦義民二百四十回忌の鎮魂曲という．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
262	永訣の朝(えいけつのあさ)	青木道喜作詞・節付 ＊観世流	1994年 (平成6)12月舞囃子にて初演，能としては，1996年(平成8)10月初演		未刊謡曲集続二十一	自分に先立って25才で病死した妹とし子を悼み，宮沢賢治は「永訣の朝」「松の針」「無声慟哭」の三篇の詩を書いた．それらに基づいた能で，後場では，とし子の霊に賢治が憑依した姿で登場する．
263	原城(はらしろ)	平原さや子原案 堂本正樹作詞 観世喜之節付 ＊観世流	1995年 (平成7)2月初演		未刊謡曲集続十八	宇佐八幡の社僧，肥前島原の城跡で稲荷のミサを目撃，天草四郎時貞の霊より島原の乱のことを聞く．島原の乱を主題にしているが，同時に雲仙普賢岳の噴火と火砕流被害を鎮め，被害者の安寧を祈る気持ちをこめた曲．
264	花風流(はなふうりゅう)	野村万之丞作詞・演出　観世清和節付 ＊観世流	1995年 (平成7)2月初演			観世長俊作(花軍)と狂言(奪爭)に想を得た新生作．
265	晶子みだれ髪(あきこみだれがみ)	馬場あき子作詞 浅井文義節付 佐藤信演出 西野春雄台本協力 ＊観世流	1995年 (平成7)12月初演	『国立能楽堂上演資料集5(晶子みだれ髪)』	未刊謡曲集続二十	明治の歌人与謝野鉄幹・晶子，山川登美子(雲)の詩歌を素材に，三人の心象風景を描き，青春の日々を蘇らせる．
266	実朝(さねとも)	高浜虚子原作 観世清和監修 堂本正樹補綴演出 野村四郎節付 野村万蔵割狂言作詞 ＊観世流	1996年 (平成8)10月初演		未刊謡曲集続二十一	銀倉に遊ぶ旅僧，八幡宮の銀杏の葉を掃く男から実朝の事を聞く．のちに銀杏の樹は焼れて船となり，実朝の霊が現れ，己が人生を語り，舞う．大正8年に発表で未上演の原作を，ホトトギス創刊百周年記念行事として観世流で初演．
267	トマス・ベケット	津村禮次郎作・演出 エドワード・ホール協力 宗片邦義能楽翻案 ＊観世流	1997年 (平成9)3月初演			イングランド・カンタベリイ大聖堂を舞台に，1170年12月に起こった大司教トマス・ベケットの殉教を描く．T.S.エリオット「寺院の殺人」の能翻案．
268	紫上(むらさきのうえ)	深瀬サキ作 岡本章構成・演出 野村万蔵・浅見真州節付 ＊観世流	1997年 (平成9)10月			紫上の霊を追い求める光源氏．二人の過ごした細やかで濃密な愛の日々の回想．新津市美術館記念企画．橋の会・鏡肉工房提携公演．
269	高山右近(たかやまうこん)	加賀乙彦作 野田琭行節付 梅若猶彦演出 ＊観世流	1997年 (平成9)11月初演			キリシタン大名高山右近に取材．
270	額田王(ぬかたのおおきみ)	馬場あき子作 観世榮夫構成・演出 梅若六郎節付 ＊観世流	1997年 (平成9)12月初演	『国立能楽堂上演資料集6(額田王)』『能英人門3梅若六郎　能の新世紀古典～新作まで』		年老いた額田王と，彼女が見る若き日の幻影．今は亡き大海人皇子や中大兄皇子の魂を呼び，甦る昔，ひとり残る額田王．
271	桜潟(さくらがた)	佐野安森吾(春空山人)作 多久島利之節付 ＊観世流	1998年 (平成10)4月初演			肥前，小城桜岡を訪れた大和金峰山の神職の前に里の老人現れ，昔を語る．夜，桜の精と蔵王権現が出現し，国家安穏を誓い，舞い，桜岡の栄えを祈る．原作は1920(大正9年)という．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
272	蓮如（れんにょ）	青木道喜作詞・節付 ＊観世流	1958年 (平成10)4月初演			蓮如上人を中心に，亡き生母，妙好人才市，蓮如の弟子を登場させ，御文章，歎異抄，才市の歌，三帖和讃を盛り，菩薩の来迎と法悦の舞をまのあたりに見せる．親鸞上人五百回忌遠忌記念能．
273	えにし祭（まつり）	野村万之丞・小田幸子脚本・演出 ＊観世流	1998年 (平成10)4月			幕末の水戸藩主徳川斉昭作の狂言〈鹿島詣〉に，室町時代の神能〈常陸帯〉を取り込んだ新生作の由．
274	母恋い蓮如（ははこがれれんにょ） （仮題）	柳沢新治作詞 （節付なし）	1998年 (平成10)春成稿	『横から見た能・狂言』(2001)		我が子（蓮如，幼名布袋）の行方を尋ねる生母，夜，念仏のうちに現れ，今は仏世界の人となった蓮如（子方）が天女たちと共に現れる．蓮如上人五百年遠忌に因んだ由．
275	空海（くうかい）	棠本正樹作 若梅六郎節付・演出 ＊観世流	1998年 (平成10)5月初演	『能楽入門3　梅若六郎 能の新世紀 古典～新作まで』		空海没後百年の高野山を舞台に，孔雀明王の力に守られて，仏法を究め衆生を救った空海を描く．新勝寺開基千六十年記念，開山寛朝大僧正千年御遠忌成田山薪能．
276	蝶（ちょう）	岡本章撰成・演出 三宅榛名音楽 ＊観世流	1998年 (平成10)6月初演			〈蛾捨〉，ベケットの「ロッカバイ」，郡司太郎の詩「秋」を素材に，能〈観世桑夫〉と現代舞踊〈大野一雄〉のコラボレーション，コクーン現代能．
277	ジゼル	水原紫苑脚本 梅若六郎企画総指揮・演出 山本東次郎翻案演出 ＊観世流	1999年 (平成11)11月初演	『能楽入門3　梅若六郎 能の新世紀 古典～新作まで』		ロマンティック・バレエの名曲として知られる「ジゼル」の翻案．自ら命を断ったジゼルの魂，恋人の真実の思いを知り浄化される．
278	関白一条教房（かんぱくいちじょうのりふさ）	村田浩二原作 河村信重節付・演出 ＊観世流	1999年 (平成11)10月　一条薪能で初演			室町時代の公卿一条兼良の長子で，応仁の乱後，家領の土佐幡多荘に下向し，流寓の地に病没した一条教房に取材．
279	夢浮橋（ゆめのうきはし）	瀬戸内寂聴作 山本東次郎・梅若六郎演出 ＊観世流	2000年 (平成12)3月初演	『能楽入門3　梅若六郎 能の新世紀 古典～新作まで』『瀬戸内寂聴の新作能 蜘 夢浮橋』		原作は，『源氏物語』宇治十帖に取材した寂聴の小説『髪』．
280	大坂城（おおさかじょう）	棠本正樹作 大槻文蔵・梅若六郎演出 ＊観世流	2000年 (平成12)7月初演	『能楽入門3　梅若六郎 能の新世紀 古典～新作まで』		燃え落ちる大坂城とともに，自害した秀頼とその母淀君，ひとり救出された千姫，オペラ的手法で作られた，大阪城薪能第20回記念能．
281	日輪月輪（にちりんがりりん）	河村信重作詞・節付 ＊観世流	2000年 (平成12)5月 新潟で初演			良寛ゆかりの地出雲崎を訪れた旅僧の前に，良寛の弟子貞心尼と，聖フランチェスコの弟子キアラの霊が顕れ，互いの師について語り，形見の衣をまとい舞う．良寛百七十年祭記念能．良寛上人と聖フランチェスコの物語．
282	クレオパトラ	津村禮次郎作詞・節付 ＊観世流	2030年 (平成12)8月初演			シェークスピアの「ジュリアス・シーザー」「アントニーとクレオパトラ」に拠る．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
283	犀龍小太郎	青木道喜作詞・節付 ＊観世流	2000年 (平成12)8月初演			信州松本平が大きな湖だった頃を舞台に，母・犀龍とその子・小太郎，そして父・白龍王が力を合わせて岩を砕き，豊かな平野を作る，「龍の子太郎」の物語で，本作は高田充也『犀川の民話』所収の原話による，明科新能オリジナル作品。
284	接針讃歌	美津口武夫原作 杉山六郎補作 鈴木佐太郎節付 ＊観世流	2000年 (平成12)9月初演			慶長5年(1600)，日本に漂着したウィリアム・アダムス(日本名・三浦安針，1564－1620)の来日四百年記念湖，謡として上演。
285	朱鷺	川上忠夫作詞・節付 ＊宝生流	2001年 (平成13)3月	宝生(平成13.3)		日本の朱鷺の絶滅を憂い，「人間の傲慢さの業果は生きとし生けるものの生命をも滅亡に追いやるエネルギーとなることへの警鐘」が主題。
286	荒城の月	柳沢新治作詞 (節付なし)	2001年 (平成13)4月	『機から見た能・狂言』(2001)		土井晩翠の詩「荒城の月」を素材とし，青葉城の跡を訪れた若き詩人(晩翠)の前に，城主たりし老武人の霊が現れ，昔を語る，初稿は1992年だが大幅に書き直した由。
287	道灌	山本東次郎作 観世清和監修・節付 山本東次郎間狂言作詞 ＊観世流	2001年 (平成13)7月初演			相模国大山の阿夫利山の大修現に，太田道灌の霊現れ，「山吹の」の歌の事，江戸城の事などを語り，風流の舞を舞う。伊勢原市市制30周年を記念し伊勢原市が制作。
288	サダコ―原爆の子―	堂本正樹作 梅若六郎監修 梅若晋矢節付 野村小三郎間狂言作詞 小田幸子ドラマトゥルグ ＊観世流	2001年 (平成13)9月試演，2002年(平成14)年広島で上演			真夏の広島を訪れた異邦の旅人，通訳を介し被爆者の女から，原爆症で亡くなったサダコの像や折鶴のことを聞き，一緒に鶴を折る，やがて太田川で灯籠流しをすると，鶴になったサダコの霊が現れ，舞う，「現代語で書かれた詩であり転であり能である」。
289	内濠十二景ある いは二重の影	渡辺守章作演出 観世英夫節付 ＊観世流	2001年 (平成13)9月フランス，ブランク城館「国際クローデル会議」で初演，2004年 (平成16)2月，東京・京都とパリで再演。	『ZEAMI 02』(2003)		内濠を散策する老詩人の瞑想，「二重の影」の異常な表象，月光の水底での恍惚，聖ヤコブの翳停，駐日フランス大使で劇詩人ポール・クローデル『内濠十二景』の詩篇，『繻子の靴』などに拠る。
290	子規	宇高通成作 金剛永謹監修 ＊金剛流	2001年 (平成13)10月初演			松山の愚陀仏庵を訪ねた都の歌人の前に子規の霊顕れ，俳句の道を語り舞い，月の世界へ昇っていく，正岡子規百年祭記念の能。
291	庭上梅	井上裕久作詞節付 木村正雄間狂言作詞 ＊観世流	2001年 (平成13)11月番囃子で初演			大磯の宿で病臥している新島襄を学生が見舞う，心慰められた新島は苦難の体験を語り，漢詩「庭上の寒梅」に自らの信念を託す，夜，夢に若人三人現れ，同志社精神を謳う，加美宏・同志社大学能楽部紫謡会草稿。

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
292	道真（みちざね）	高瀬千国作 観世暁夫節付・演出 ＊観世流	2001年 (平成13)11月初演			大宰府天満宮に菅原道真の霊顕れ，昔を語り，舞う．菅原道真御神忌千百年大祭記念の新作能．
293	安倍晴明（あべのせいめい）	吉田音重原作 梅若六郎節付・演出 Mr.マリック舞台空間演出 ＊観世流	2001年 (平成13)12月初演	『能楽入門3　梅若六郎 能の新世紀 古典～新作まで』		陰陽師安倍晴明の末裔，土御門晴明が都に上る途中，庵の旅寝の夢に見た先祖の数奇な生涯．物語の謎を握る晴明と蘆屋道満との激しい戦い．雪降る信田の森．
294	浅香姫（あさかひめ）	柳瀬千穂作詞 (節付なし)	2002年 (平成14)1月改稿			かつて天王寺聖霊会の舞楽に，俊徳丸の優美な舞姿に恋いこがれ心乱れた姫．天王寺に現れ，継母の讒言により捨てられた盲目の俊徳丸とめぐり逢う．《天王寺物狂》(廃絶曲)の改作．
295	海月望郷（かいげつぼうきょう）	林望作 津村禮次郎節付 ＊観世流	2002年 (平成14)1月初演			望郷の念を抱きつつ中国の地に没した遣唐使阿倍仲麻呂に取材．
296	乙女山姥（おとめやまうば）	多田智満子作 (節付なし)	2002年 (平成14)1月	すばる(2002・1) 『多田智満子詩集『封を切ると』』 2004年(平成16)		都の者，養母の行方を訪ねて奥山に入り，炭焼の男から山姥の事を聞くや，母(若き女の相)が現れ昔を語る．その夜，山姥(老女の相)が現れ，山廻りのさまを見せる．
297	月見（つきみ）	粟谷明夫節付 笠井賢一演出 ＊喜多流	2002年 (平成14)2月			『平家物語』巻五の「月見」の章段を原文のまま能にて上演（非公開）．
298	ベルナルダ・アルバの家（いえ）	ガルシア・ロルカ原作 水原紫苑脚本 岡本章構成・演出	2002年 (平成14)2月初演			20世紀のスペインを代表する詩劇・劇作家ガルシア・ロルカの悲劇「ベルナルダ・アルバの家」を中心に，能・現代演劇・舞踊・現代音楽による「現代能」．練肉工房・神奈川芸術文化財団共同企画．
299	栖のむろの木（すのむろのき）	帆足正規作詞 大島政充節付 ＊喜多流	2002年 (平成14)6月初演			備後の鞆の浦が舞台．万葉歌人・大伴旅人と，漢詩人・菅茶山の時空を超えての出会い．亡き妻への追慕の情と孤独な思い．
300	不知火（しらぬい）	石牟礼道子作 梅若六郎節付 笠井賢一演出 ＊観世流	2002年 (平成14)7月初演	環20(2005・冬) 『石牟礼道子全集』		詩人石牟礼道子による，水俣病をテーマとする『苦海浄土』を発展させた鎮魂詩劇．制作，橋の会．
301	草枕（くさまくら）	西野春雄作詞 浅見真州節付・演出 ＊観世流	2002年 (平成14)11月初演	能楽研究28(2004・4)		漱石の新体詩「鬼哭寺の一夜」を基に，『草枕』の世界を借りた夢幻能．旅の詩人と芸良乙女の霊との出逢いの物語．法政大学文学部八十周年・能楽研究所創設五十周年記念．鶴仙会と共同制作．
302	智嶋尊女（ちしまそんにょ）	河村信重作詞・節付 ＊観世流	2002年 (平成14)初演			親の病いを救いたい一心で，奇特の力を求める長人．奈良・野原の如意寺の緋才天に参り，大義智祥の霊から智嶋の事を聞く．やがて寺の宗祖・智嶋尊女が顕れ，奇瑞を示す．智嶋宗立宗五十年記念の能．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
303	五輪書・武蔵伝	大江健也原作 狩野秀明監修 ＊喜多流	2003年 (平成15)4月初演			宮本武蔵の供養のため霊巌寺に詣でた春山和貴，鼓が滝で童子に逢う．夜，真の兵法を求めて苦悩する武蔵の霊が現れ，やがて悟り得た時，岩戸の観音現れ，五輪の舞を舞う．
304	一石仙人	多田富雄作詞 津村禮次郎節付 ＊観世流	2003年 (平成15)5月初演	『謡の中の能舞台』		相対性理論の提唱者アインシュタインがシテ，主題は「まことの不思議とは無限を知れる人間」「神は老獪なれども邪悪ならず(この一句のみドイツ語で謡われる)」という詞章に集約される．
305	原子雲	宇高道成作・演出 金剛永謹監修 ＊金剛流	2003年 (平成15)8月初演			テロや戦争犠牲の女性・子供たちと，原爆で非業の死を遂げた人々が集まる霊界「黄泉の国」を舞台に，原子雲で命を失った幼子と，その行方を尋ねる老女の物語．
306	待月	松田正隆原作 味方玄舞色節付 ＊観世流	2003年 (平成15)10月初演			月待橋という幻の橋を舞台に，橋守の老婆が語る，背中に罪の数々を文字で刻まれた若い男の亡霊の物語．
307	山鳥	山崎楽堂原作 関根祥六節付 山本東次郎狂言作詞 ＊観世流	2003年 (平成15)10月初演			037〈おろの鏡〉(大正4年)を改作改題して上演．
308	始皇帝	那珂太郎作 能楽座節付・作詞 岡本章演出 ＊観世流	2003年 (平成15)12月テキストリーディングの試みとして初演	『始皇帝』		永遠の栄華を求める始皇帝と，その命により不老不死の仙薬を求めて旅立った徐福．2200年後の舞台で二人の魂が出会う．長篇詩「皇帝」の著者による翻案．地下軍団の兵士達に的を絞った「コロス」劇で，現代能と銚打つ．
309	龍馬	宇高通成作詞・節付 ＊金剛流	2003年 (平成15)12月初演			脱藩を企てる郷士を待ち構えている土佐勤道の関守小松某，坂本龍馬と沢村惣之丞が通りかかり，厳しく詰問するが，外国知識等を披露し，熱く日本の将来を語る．心打たれた小松，二人を通関させる．
310	妣	瀬戸内寂聴作詞 山本東次郎監修 梅若六郎節付・演出 ＊観世流	2005年 (平成15)12月初演	『瀬戸内寂聴の新作能 妣 夢浮橋』		大原へ行く後鳥羽，大雪の中で出会った女が明かす，あさましい儀梅の物語． 国立能楽堂開場20周年記念特別公演．
311	博多　山笠	水原紫苑脚本 梅若六郎総合監修 ＊観世流	2004年 (平成16)9月初演			筑紫国の旅人，九州箱崎の浜で，お汐井取りを見，櫛田宮へ参り，所の老人から祇園祭の櫛田祇園社の祭神の事を聞く．その夜，古の疫病悪神が出現するが，八坂の祇園社より素戔嗚尊が飛行し退散させる．
312	利休	深瀬サキ作詞 野村四郎節付 笠井賢一演出 ＊観世流	2004年 (平成16)11月初演			宗旦・宗長の跡を訪ねた連歌師松露の前に，利休の霊と朝顔の精が顕れ，茶の美と心を語り，舞う．世界お茶まつり2004の一環とグランシップ開館5周年記念能．

Hosei University Repository

NO	曲名	作・節付	刊年・成立年	掲載誌など	未刊謡曲集	内容
313	小野浮舟	馬場あき子作 梅若六郎節付・演出 ＊観世流	2004年 (平成16)12月初演			浮舟の異父弟，小君の案内で，浮舟の庵を訪ねた母と乳人子の右近に，浮舟は入水未遂の日のことを告白し，舞う．横浜能楽堂・りゅーとぴあ共同企画公演「女による女のための女の能」で初演．
314	能・ハムレット	上田邦義作詞 八田達弥地謡節付 観世榮夫・梅若万三郎・上田邦義演出 ＊観世流	2004年 (平成16)12月初演	融合文化研究4		デンマーク，オフィーリアの墓で，墓守がホレイショと問答し，のちオフィーリアの霊，ついでハムレットの霊が現れ，「生死」「調和と融合による共生」について語り，舞う．
315	原爆忌	多田富雄作	2004年 (平成16)草稿			世界で初めて原爆が落とされた広島を舞台に，被爆者たちへの祈り，鎮魂の曲．
316	長崎の聖母	多田富雄作	2004年 (平成16)草稿			長崎の被爆者の霊を慰める聖母．2005(平成17)11月，被爆60年の慰霊の催しとして長崎浦上天主堂で初演予定．

Hosei University Repository

◇新作能曲名索引
(五十音順)

曲名	NO
あ～お	
青丹吉	090
明石	143
晶子みだれ髪	265
金野	132
浅香姫	294
旭桜	011
朝日新聞	185
足尾銅山	028
熱田	239
安土の聖母	246
安倍晴明	293
雨乞世阿弥	257
綾の鼓	159
綾鼓	152
鮎	206
荒木又右衛門	083
有王	051
按針讃歌	284
イエズスの洗礼	238
碇引	001
いくさ神	003
石切	245
和泉の宮	087
出雲井	147
一之宮	114
一石仙人	304
伊良虞	212
槎の渟	086
浮橋	069
牛滝	085
撃ちてし止まむ	120
内濠十二景あるいは二重の影	289
内船桜	125
海の幸	077
永訣の朝	262
英断時宗	109
えにし祭	273
大石	032
大坂城	280
興津	014
隠岐の掾	258
奥の細道	123
乙女山姥	296
鬼居士	151
小野浮舟	313
おろの鏡	037
女と影	218
か～こ	
海月望郷	295
海戦	005
解放	160
海霊	221
加賀の千代女	242
柿屋島	015
かぐや姫	224
鹿児島	019
鹿島	079
片目川	057
河童	178
首途	061
竈門山	089
竈山	100
神風	006
蛙ヶ沼	167
川中島	198
灌園房	016
鑑真和上	199
寛朝	234
関白一条教房	278
祇園	154
菊水	236
象潟	108
義士供養	030
喜寿	067
北野	145
義仲寺	084
君が代	188
玉砕	126
清盛	174
桐壺	153
銀閣寺	155
空海	275
草枕	301
虵	310
雲井雁	103
栗栖桜	241
クレオパトラ〔竹中新作〕	102
クレオパトラ〔津村新作〕	282
軍神	115
元寇	127
原子雲	305
顕如	111
原爆	172
原爆忌	315
恋衣	161
恋塚	124
興亜の光	113
嫦娥	156
興教	255
荒城の月	286
香水	046
降魔	062
悟機庵	055
御香宮	173
五重の塔	220
琴	097
護法還元歌	045
五輪書・武蔵伝	303

Hosei University Repository

衣の盾 139

さ～そ

差萆草 133
犀龍小太郎 283
嵯峨の雨 190
桜井 080
桜井駅 065
桜岡 271
桜が池 060
サダコ—原爆の子— 288
佐渡 247
佐渡の日蓮 204
佐渡詣 070
実朝〔高浜新作〕 041
実朝〔土岐新作〕 134
実朝〔堂本新作〕 266
五月雨 073
三十六 240
椎葉 182
重衡 148
始皇帝 308
ジゼル 277
舌切雀 027
使徒パウロ 189
四面楚歌 180
十八樓 093
如安 233
青衣女人 122
不知火 300
白峯 228
塩飽 225
親鸞〔竹中新作〕 098
親鸞〔土岐新作〕 191
親鸞〔百瀬新作〕 229
水間寺 078
杉 023
資時 007
世阿望憶 195
世阿弥 106
世阿弥再見 250
征露の談 008
積薪 075
蟬丸 076
善光寺詣 099
千秋舞 013
宗祇 096

た～と

大雅 121
大典 035
大塔宮 193
高千穂 004
鷹井 248
鷹の泉 130
鷹の井戸 243
鷹姫 214
高山右近 269
焼葉庵 018
竹 253
竹取の翁 074
餡地蔵 095
橘 020
龍城 223
龍の口 150
多摩 213
珠鑑 43
魂の宴 219
誕生椋 056
壇之浦 022
智恵子抄 176
知恩院 141
智鳥 231
智辯尊女 302
忠霊 107
長之助 049
待月 306
月見 297
蔦加茂 047
土僧 071
鶴〔津村新作〕 137
鶴〔土岐新作〕 183
鶴岡 010
鶴富 146
庭上梅 291
手形石 033
手古奈 215
鉄門 036
天長節 021
天理教祖 024
朱鷺 285
桃園 259
道灌 287
燈台 171
時宗 091
トマス・ベケット 267
鞆の浦 040
鞆のむろの木 299

な～の

長崎の聖母 316
なよたけ物語 179
南叡山 050
南都炎上 168
熟田津 135
日輪月輪 281
二宮 094
入道塚 249
爾霊山 175
尼蓮禅河 012
人魚 184
額田王 270
能・ハムレット 314
乃木婦人 053
後の羽衣〔原作〕 034
後の羽衣〔原作〕 158
宣長 082

Hosei University Repository

は～ほ

博多 山笠 311
発向 063
花風流 264
母恋い蓮如 274
原木 038
春 165
原城 263
半獣神の午後 226
緋桜 119
秀衡 144
人麻呂 208
白虎隊 186
平泉 039
飛龍 181
深山かづら 072
福神 203
藤橋 068
藤物狂 136
双面 149
二上 207
二見 009
復活 196
復活のキリスト 177
復興 048
文がら 217
平安 192
ベルナルダ・
　アルバの家 298
望恨歌 261
法難 138
法然 059
法隆寺 131
孑規 290
霍公鳥 201
炎 162
本願寺 140
本宮 235

ま～も

正高 081
正行 116
松坂 237
松島 017
幻 256
真間 211
摩耶夫人 227
希典 029
皇軍艦 118
御蔭の雨 026
御蔭の命 025
水分 187
水漬屍 105
水の声 244
道真 292
水 163
水城 202
三のむら 052
三保 044
宮崎城 117
御代の曙 209
無 276
武蔵野〔大正新作〕 042
武蔵野〔平成新作〕 254
無明の井 251
紫上 268
室津 058
女鯉屏風 166
滅亡 169
面塚 197
蒙古襲来 104
木犀 205
磐塚 031
森 164
森が崎 054

や～よ

家持 200
八木 230
八咫烏 101
柳津 216
山田長政 110
山鳥 307
山室山 157
雪女 222
雪鷺 170
夢殿 088
夢浮橋 279
義経 112
吉野 210
義教 252
代々木 064
頼錦 260

ら～わ

雷神塚 232
利休〔土岐新作〕 128
利休〔深瀬新作〕 312
龍馬 309
蓮華潭 066
蓮如〔三島新作〕 129
蓮如〔青木新作〕 272
若紫 142
和気清麻呂 092
鷲 002
和霊 194